

【講義科目】 【交換留学生用】 日本語 Ia・Ib A レベル (Japanese Ia・Ib : 入門) (2 単位)

【開講時間/担当講師】 火曜日 4 限目 : 三木 由里子、木曜日 4 限目 : 野村 真紀

【対象者】 日本語を初めて学ぶ学生

【学習目標】

- ・日常生活ですぐに使える自然な日本語表現を学び、日本語でコミュニケーションが取れるようになることをめざす。
- ・ひらがなの読み書きを学ぶ。

【講義計画】 注 : 講義計画の進度は状況によって変更することがある。
指示や説明などで英語を補助的に使用することがある。

回	日付	曜日	担当	ユニット	内 容
1	4/15	火	三木	ガイダンス、ユニット 1	Guidance, Introducing Yourself
2	4/17	木	野村	ユニット 1	〃
3	4/22	火	三木	ユニット 2	Asking for Directions
4	4/24	木	野村	ユニット 2	〃
5	4/29	火	三木	ユニット 3	Shopping
6	5/1	木	野村	ユニット 3	〃
7	5/8	木	野村	ユニット 4	Convenience stores and restaurants
8	5/13	火	三木	ユニット 4	〃
9	5/15	木	野村	ユニット 5	Asking permission
10	5/20	火	三木	ユニット 5	〃
11	5/22	木	野村	ユニット 6	Making requests
12	5/27	火	三木	ユニット 6	〃
13	5/29	木	野村	試験前復習・別教材	Review, other materials
14	6/3	火	三木	中間試験	The midterm
15	6/5	木	野村	ユニット 7	Transportation
16	6/10	火	三木	ユニット 7	〃
17	6/12	木	野村	ユニット 8	Talking about plans and activities
18	6/17	火	三木	ユニット 8	〃
19	6/19	木	野村	ユニット 9	Talking about impressions
20	6/24	火	三木	ユニット 9	〃
21	6/26	木	野村	ユニット 10	Eating
22	7/1	火	三木	ユニット 10	〃
23	7/3	木	野村	ユニット 11・スピーチ原稿作成	Socializing I-Making Small Talk-Making drafts of the speech
24	7/8	火	三木	ユニット 11	Socializing I
25	7/10	木	野村	ユニット 12・スピーチ準備	Socializing II-Invitations-Preparation for the speech
26	7/15	火	三木	ユニット 12・スピーチ準備	〃
27	7/17	木	野村	スピーチ・試験前復習	Speech, review
28	7/22	火	三木	別教材	Other materials
29	7/24	木	野村	期末試験	The final
30	7/29	火	三木	別教材	Other materials

【評価】 試験 (中間・期末) 60%、課題 (宿題・発表等) 20%、授業参加度 20%

【教科書】 『NIHONGO FUN & EASY』2nd edition (アスク) (購入必須)

【その他】

- ・火曜日と木曜日は別々の評価となる。それぞれ 4 回以上欠席すると評価の対象外になる。
- ・20 分以上の遅刻・早退は欠席となる。また遅刻や早退は 3 回で欠席 1 回と数える。
- ・2 学期目に必修科目を履修する場合は、改めてプレイスメントテストを受験すること。

【講義科目】 【交換留学生用】 日本語 Ia・Ib B レベル (Japanese Ia・Ib: 初級前半) (2 単位)

【開講時間/担当講師】 火曜日 3 限目: 辰巳 委子、木曜日 3 限目: 野村 真紀

【対象者】 ひらがなの読み書きができ、入門レベルの日本語で簡単なコミュニケーションができる学生

【学習目標】 ・日常生活ですぐに使える自然な日本語表現を学び、日本語で日常的なコミュニケーションが取れるようになることをめざす。
・ひらがな・カタカナを使った文の読み書きに慣れる。

【講義計画】 注: 講義計画の進度は状況によって変更することがある。
指示や説明などで英語を補助的に使用することがある。

回	日付	曜日	担当	ユニット	内 容
1	4/15	火	辰巳	ガイダンス、ユニット 1	Guidance, Introducing Yourself
2	4/17	木	野村	ユニット 1	〃
3	4/22	火	辰巳	ユニット 2	Asking for Directions
4	4/24	木	野村	ユニット 2	〃
5	4/29	火	辰巳	ユニット 3	Shopping
6	5/1	木	野村	ユニット 3	〃
7	5/8	木	野村	ユニット 4	Convenience stores and restaurants
8	5/13	火	辰巳	ユニット 4	〃
9	5/15	木	野村	ユニット 5	Asking permission
10	5/20	火	辰巳	ユニット 5	〃
11	5/22	木	野村	ユニット 6	Making requests
12	5/27	火	辰巳	ユニット 6	〃
13	5/29	木	野村	試験前復習・別教材	Review, other materials
14	6/3	火	辰巳	中間試験	The midterm
15	6/5	木	野村	ユニット 7	Transportation
16	6/10	火	辰巳	ユニット 7	〃
17	6/12	木	野村	ユニット 8	Talking about plans and activities
18	6/17	火	辰巳	ユニット 8	〃
19	6/19	木	野村	ユニット 9	Talking about impressions
20	6/24	火	辰巳	ユニット 9	〃
21	6/26	木	野村	ユニット 10	Eating
22	7/1	火	辰巳	ユニット 10	〃
23	7/3	木	野村	ユニット 11・スピーチ原稿作成	Socializing I-Making Small Talk-Making drafts of the speech
24	7/8	火	辰巳	ユニット 11	Socializing I
25	7/10	木	野村	ユニット 12・スピーチ準備	Socializing II-Invitations-Preparation for the speech
26	7/15	火	辰巳	ユニット 12・スピーチ準備	〃
27	7/17	木	野村	スピーチ・試験前復習	Speech, review
28	7/22	火	辰巳	別教材	Other materials
29	7/24	木	野村	期末試験	The final
30	7/29	火	辰巳	別教材	Other materials

【評価】 試験 (中間・期末) 60%、課題 (宿題・発表等) 20%、授業参加度 20%

【教科書】 『NIHONGO FUN & EASY』2nd edition (アスク) (購入必須)

【その他】 ・火曜日と木曜日は別々の評価となる。それぞれ 4 回以上欠席すると評価の対象外になる。
・20 分以上の遅刻・早退は欠席となる。また遅刻や早退は 3 回で欠席 1 回と数える。
・2 学期目に必修科目を履修する場合は、改めてプレイスメントテストを受験すること。

【講義科目】 【交換留学生用】 日本語 Ia・Ib C レベル (Japanese Ia・Ib: 初級後半) (2 単位)

【開講時間/担当講師】 火曜日 4 限目: 辰巳委子、木曜日 4 限目: 酒井滋子

【対象】

・初級前半レベルの日本語が定着している留学生。

【学習目標】

・初級後半レベルの日本語を使って社会活動に必要なコミュニケーションができるようになることを目標とし、そのために必要な語彙や文法を学習する。

【講義計画】 注: 講義計画の進捗は状況によって変更することがある。

回	日付	曜日	担当	課	内容
1	4/15	火	辰巳	初級前半の復習	
2	4/17	木	酒井	初級前半の復習	
3	4/22	火	辰巳	初級前半の復習	
4	4/24	木	酒井	初級前半の復習	
5	4/29	火	辰巳	L 1	自己紹介
6	5/1	木	酒井	L 2	ショッピング
7	5/8	木	酒井	L 1 5 (『できる日本語初級』)	テレビ・雑誌から①
8	5/13	火	辰巳	L 1 5 (『できる日本語初級』)	テレビ・雑誌から②
9	5/15	木	酒井	L 1 5 (『できる日本語初級』)	テレビ・雑誌から③
10	5/20	火	辰巳	L 1 5 (『できる日本語初級』)	テレビ・雑誌から④
11	5/22	木	酒井	L 3	目標や夢①
12	5/27	火	辰巳	L 3	目標や夢②
13	5/29	木	酒井	L 3	目標や夢③
14	6/3	火	辰巳	L 5	困ったこと①
15	6/5	木	酒井	L 5	困ったこと②
16	6/10	火	辰巳	発表等	
17	6/12	木	酒井	中間試験	
18	6/17	火	辰巳	L 8	感謝する
19	6/19	木	酒井	L 6	旅行の準備①
20	6/24	火	辰巳	L 6	旅行の準備②
21	6/26	木	酒井	L 7	お世話になった人と話す①
22	7/1	火	辰巳	L 7	お世話になった人と話す②
23	7/3	木	酒井	L 1 0	旅行先で話す①
24	7/8	火	辰巳	L 1 0	旅行先で話す②
25	7/10	木	酒井	L 1 1	地域社会で話す①
26	7/15	火	辰巳	L 1 1	地域社会で話す②
27	7/17	木	酒井	L 1 3	経験や意見を話す①
28	7/22	火	辰巳	L 1 3	経験や意見を話す②
29	7/24	木	酒井	復習／発表等	
30	7/29	火	辰巳	期末試験	

【評価】 試験 (中間・期末) 60%、課題 (宿題・作文・発表等) 30%、授業参加度 10%

【教科書】 『できる日本語 初中級』(アルク) (購入必須)

【参考図書】 『できる日本語 初級』(アルク)

【その他】

- ・課ごとにチェックテストを実施する。
- ・火曜と木曜は別々に評価する。それぞれ 4 回以上欠席すると評価の対象外。
- ・20 分以上の遅刻・早退は欠席。また遅刻や早退は 3 回で欠席 1 回と数える。
- ・2 学期目に必修科目を履修する場合は、教員に相談すること。
(改めてプレイスメントテストを受けなければならない場合がある)

【講義科目】【交換留学生用】日本語 Ia・Ib D レベル (Japanese Ia・Ib: 初中級) (2 単位)

【開講時間/担当講師】 火曜日 3 限目: 竹山直子、木曜日 3 限目: 酒井滋子

【対象】

・初級後半レベルの日本語をひととおり学習済みの留学生。

【学習目標】

・初級後半レベルから初中級レベルの語彙や文法を使いこなし、日常的な社会活動において十分にコミュニケーションがとれるようになることを目標とする。

【講義計画】注: 講義計画の進捗は状況によって変更することがある。

回	日付	曜日	担当	課	内容
1	4/15	火	竹山	L1	自己紹介①
2	4/17	木	酒井	L1	自己紹介②
3	4/22	火	竹山	L2	気持ちを表現する
4	4/24	木	酒井	L3	心配する①
5	4/29	火	竹山	L3	心配する②
6	5/1	木	酒井	L4	おすすめの場所①
7	5/8	木	酒井	L4	おすすめの場所②発表
8	5/13	火	竹山	L5	わからないことを聞く
9	5/15	木	酒井	L13	ルールやマナー①
10	5/20	火	竹山	L13/14	ルールやマナー②／失敗について話す①
11	5/22	木	酒井	L14	失敗について話す②
12	5/27	火	竹山	L17	写真を説明する①
13	5/29	木	酒井	L6	状況を聞く
14	6/3	火	竹山	L17	写真を説明する②発表
15	6/5	木	酒井		中間試験
16	6/10	火	竹山	L10	電話で問い合わせ①
17	6/12	木	酒井	L10	電話で問い合わせ②
18	6/17	火	竹山	L26	断る①
19	6/19	木	酒井	L26	断る②
20	6/24	火	竹山	L12	意見を言う①
21	6/26	木	酒井	L12	意見を言う②最終発表準備
22	7/1	火	竹山	L21	状況を聞く・答える
23	7/3	木	酒井	L27	嬉しかったこと／嫌だったこと
24	7/8	火	竹山	補足教材	嫌だったこと
25	7/10	木	酒井	L18	謝る
26	7/15	火	竹山	L25	苦情を言う
27	7/17	木	酒井	L9	子供時代
28	7/22	火	竹山	L22	来日後変わったこと
29	7/24	木	酒井	L12	最終発表
30	7/29	火	竹山		期末試験

【評価】 試験 (中間・期末) 60%、課題 (宿題・作文・小テスト・発表等) 30%、授業参加度 10%

【教科書】『Weekly J Book 1 - 日本語で話す 6 週間』(凡人社) (購入必須)

【参考図書】 特になし

【その他】

- ・課ごとにチェックテストを実施する。
- ・火曜と木曜は別々に評価する。それぞれ 4 回以上欠席すると評価の対象外。
- ・20 分以上の遅刻・早退は欠席。また遅刻や早退は 3 回で欠席 1 回と数える。
- ・2 学期目に必修科目を履修する場合は、教員に相談すること
(改めてプレイスメントテストを受けなければならない場合がある)。

【講義科目】 【交換留学生用】 日本語 Ia・Ib A レベル (Japanese Ia・Ib : 初級前半) (2 単位)

【開講時間/担当講師】 火曜日 4 限目 : 三木 由里子、木曜日 4 限目 : 野村 真紀

【対象者】 日本語を初めて学ぶ学生

【学習目標】

- ・日常生活ですぐに使える自然な日本語表現を学び、日本語でコミュニケーションが取れるようになることをめざす。
- ・ひらがなの読み書きを学ぶ。

【講義計画】 注 : 講義計画の進度は状況によって変更することがある。
指示や説明などで英語を補助的に使用することがある。

回	日付	曜日	担当	ユニット	内 容
1	9/30	火	三木	ガイダンス、ユニット 1	Guidance, Introducing Yourself
2	10/2	木	野村	ユニット 1	〃
3	10/7	火	三木	ユニット 2	Asking for Directions
4	10/9	木	野村	ユニット 2	〃
5	10/14	火	三木	ユニット 3	Shopping
6	10/16	木	野村	ユニット 3	〃
7	10/21	火	三木	ユニット 4	Convenience stores and restaurants
8	10/23	木	野村	ユニット 4	〃
9	10/28	火	三木	ユニット 5	Asking permission
10	10/30	木	野村	ユニット 5	〃
11	11/4	火	三木	ユニット 6	Making requests
12	11/6	木	野村	ユニット 6	〃
13	11/11	火	三木	ユニット 7	Transportation
14	11/13	木	野村	試験前復習・別教材	Review, other materials
15	11/18	火	三木	中間試験	The midterm
16	11/25	火	三木	ユニット 7	Transportation
17	11/27	木	野村	ユニット 8	Talking about plans and activities
18	12/2	火	三木	ユニット 8	〃
19	12/4	木	野村	ユニット 9	Talking about impressions
20	12/9	火	三木	ユニット 9	〃
21	12/11	木	野村	ユニット 10	Eating
22	12/16	火	三木	ユニット 10	〃
23	12/18	木	野村	ユニット 11・スピーチ原稿作成	Socializing I -Making Small Talk-Making drafts of the speech
24	1/8	木	野村	ユニット 11	Socializing I
25	1/13	火	三木	ユニット 12・スピーチ準備	Socializing II -Invitations-Preparation for the speech
26	1/15	木	野村	ユニット 12・スピーチ準備	〃
27	1/20	火	三木	別教材	Other materials
28	1/22	木	野村	スピーチ・試験前復習	Speech, review
29	1/27	火	三木	別教材	Other materials
30	1/29	木	野村	期末試験	The final

【評価】 試験 (中間・期末) 60%、課題 (宿題・発表等) 20%、授業参加度 20%

【教科書】 『NIHONGO FUN & EASY』 2nd edition (アスク) (購入必須)

【その他】

- ・火曜日と木曜日は別々の評価となる。それぞれ 4 回以上欠席すると評価の対象外になる。
- ・20 分以上の遅刻・早退は欠席となる。また遅刻や早退は 3 回で欠席 1 回と数える。
- ・2 学期目に必修科目を履修する場合は、改めてプレイスメントテストを受験すること。

【講義科目】 【交換留学生用】 日本語 Ia・Ib B レベル (Japanese Ia・Ib: 初級前半) (2 単位)

【開講時間/担当講師】 火曜日 3 限目: 辰巳 委子、木曜日 3 限目: 野村 真紀

【対象】 ひらがなの読み書きができ、入門レベルの日本語で簡単なコミュニケーションができる学生

【学習目標】

初級前半レベルの日本語で日常的なコミュニケーションが取れるようになることをめざす

【講義計画】 注: 講義計画の進捗は状況によって変更することがある。
指示や説明などで英語を補助的に使用することがある。

回	日付	曜日	担当	教科書	内容	
1	9/30	火	辰巳	復習・ユニット1	ガイダンス、自己紹介 辞書形を使った表現	
2	10/2	木	野村			
3	10/7	火	辰巳	ユニット2	ます形を使った表現	
4	10/9	木	野村			
5	10/14	火	辰巳	ユニット3	て形を使った表現①	
6	10/16	木	野村			
7	10/21	火	辰巳	ユニット4	て形を使った表現②	
8	10/23	木	野村			
9	10/28	火	辰巳	ユニット5	た形を使った表現	
10	10/30	木	野村			
11	11/4	火	辰巳	ユニット6	ない形を使った表現	
12	11/6	木	野村			
13	11/11	火	辰巳	ユニット8	形容詞を使った表現	
14	11/13	木	野村			
15	11/18	火	辰巳			
16	11/25	火	辰巳	中間試験		
17	11/27	木	野村	発表		
18	12/2	火	辰巳	ユニット7	普通形を使った表現①	
19	12/4	木	野村			
20	12/9	火	辰巳			
21	12/11	木	野村			
22	12/16	火	辰巳	ユニット9	可能動詞を使った表現	
23	12/18	木	野村			
24	1/8	木	野村	ユニット10	普通形を使った表現②	
25	1/13	火	辰巳			
26	1/15	木	野村			
27	1/20	火	辰巳	ユニット13	授受表現	
28	1/22	木	野村			
29	1/27	火	辰巳	発表		
30	1/29	木	野村	期末試験		

【評価】 試験 (中間・期末) 60%、課題 (宿題・発表等) 20%、授業参加度 20%

【教科書】 『NIHONGO FUN & EASY II』 (アスク) (購入必須)

【参考図書】 特になし

【その他】 ・火曜と木曜は別々に評価する。それぞれ 4 回以上欠席すると評価の対象外となる。
・20 分以上の遅刻・早退は欠席となる。また遅刻や早退は 3 回で欠席 1 回と数える。
・2 学期目に必修科目を履修する場合は、教員に相談すること。
(改めてプレイスメントテストを受けなければならない場合がある)

【講義科目】 【交換留学生用】 日本語 Ia・Ib C レベル (Japanese Ia・Ib: 初級後半) (2 単位)

【開講時間/担当講師】 火曜日 4 限目: 辰巳委子、木曜日 4 限目: 酒井滋子

【対象】

・初級前半レベルの日本語が定着している留学生。

【学習目標】

・初級後半レベルの日本語を使って社会活動に必要なコミュニケーションができるようになることを目標とし、そのために必要な語彙や文法を学習する。

【講義計画】 注: 講義計画の進捗は状況によって変更することがある。

回	日付	曜日	担当	課	内容
1	9/30	火	辰巳	初級前半の復習	
2	10/2	木	酒井	初級前半の復習	
3	10/7	火	辰巳	初級前半の復習	
4	10/9	木	酒井	初級前半の復習	
5	10/14	火	辰巳	L 1	自己紹介
6	10/16	木	酒井	L 2	ショッピング
7	10/21	火	辰巳	L 1 5 (『できる日本語初級』)	テレビ・雑誌から①
8	10/23	木	酒井	L 1 5 (『できる日本語初級』)	テレビ・雑誌から②
9	10/28	火	辰巳	L 1 5 (『できる日本語初級』)	テレビ・雑誌から③
10	10/30	木	酒井	L 1 5 (『できる日本語初級』)	テレビ・雑誌から④
11	11/4	火	辰巳	L 3	目標や夢①
12	11/6	木	酒井	L 3	目標や夢②
13	11/11	火	辰巳	L 3	目標や夢③
14	11/13	木	酒井	L 5	困ったこと①
15	11/18	火	辰巳	L 5	困ったこと②
16	11/25	火	辰巳	中間試験	
17	11/27	木	酒井	発表等	
18	12/2	火	辰巳	L 8	感謝する
19	12/4	木	酒井	L 6	旅行の準備①
20	12/9	火	辰巳	L 6	旅行の準備②
21	12/11	木	酒井	L 7	お世話になった人と話す①
22	12/16	火	辰巳	L 7	お世話になった人と話す②
23	12/18	木	酒井	L 1 0	旅行先で話す①
24	1/8	木	酒井	L 1 0	旅行先で話す②
25	1/13	火	辰巳	L 1 1	地域社会で話す①
26	1/15	木	酒井	L 1 1	地域社会で話す②
27	1/20	火	辰巳	L 1 3	経験や意見を話す①
28	1/22	木	酒井	L 1 3	経験や意見を話す②
29	1/27	火	辰巳	復習／発表等	
30	1/29	木	酒井	期末試験	

【評価】 試験 (中間・期末) 60%、課題 (宿題・作文・発表等) 30%、授業参加度 10%

【教科書】 『できる日本語 初中級』(アルク) (購入必須)

【参考図書】 『できる日本語 初級』(アルク)

【その他】

- ・火曜と木曜は別々に評価する。それぞれ 4 回以上欠席すると評価の対象外。
- ・20 分以上の遅刻・早退は欠席。また遅刻や早退は 3 回で欠席 1 回と数える。
- ・2 学期目に必修科目を履修する場合は、教員に相談すること。
(改めてプレイスメントテストを受けなければならない場合がある)

【講義科目】【交換留学生用】日本語 Ia・Ib D レベル (Japanese Ia・Ib: 初中級) (2 単位)

【開講時間/担当講師】 火曜日 3 限目: 竹山直子、木曜日 3 限目: 酒井滋子

【対象】

・初級後半レベルの日本語をひととおり学習済みの留学生。

【学習目標】

・初級後半レベルから初中級レベルの語彙や文法を使いこなし、日常的な社会活動において十分にコミュニケーションがとれるようになることを目標とする。

【講義計画】注: 講義計画の進捗は状況によって変更することがある。

回	日付	曜日	担当	課	内容
1	9/30	火	竹山	L1	自己紹介①
2	10/2	木	酒井	L1	自己紹介②
3	10/7	火	竹山	L2	気持ちを表現する
4	10/9	木	酒井	L3	心配する①
5	10/14	火	竹山	L3	心配する②
6	10/16	木	酒井	L4	おすすめの場所①
7	10/21	火	竹山	L4	おすすめの場所②発表
8	10/23	木	酒井	L5	わからないことを聞く
9	10/28	火	竹山	L13	ルールやマナー①
10	10/30	木	酒井	L13/14	ルールやマナー①／失敗について話す②
11	11/4	火	竹山	L14	失敗について話す②
12	11/6	木	酒井	L17	写真を説明する①
13	11/11	火	竹山	L6	状況を聞く
14	11/13	木	酒井	L17	写真を説明する②発表
15	11/18	火	竹山		中間試験
16	11/25	火	竹山	L10	電話で問い合わせ①
17	11/27	木	酒井	L10	電話で問い合わせ②
18	12/2	火	竹山	L26	断る①
19	12/4	木	酒井	L26	断る②
20	12/9	火	竹山	L12	意見を言う①
21	12/11	木	酒井	L12	意見を言う②最終発表準備
22	12/16	火	竹山	L21	状況を聞く・答える
23	12/18	木	酒井	L27	嬉しかったこと／嫌だったこと
24	1/8	木	酒井	補足教材	嫌だったこと
25	1/13	火	竹山	L18	謝る
26	1/15	木	酒井	L25	苦情を言う
27	1/20	火	竹山	L9	子供時代
28	1/22	木	酒井	L22	来日後変わったこと
29	1/27	火	竹山	L12	最終発表
30	1/29	木	酒井		期末試験

【評価】 試験 (中間・期末) 60%、課題 (宿題・作文・小テスト・発表等) 30%、授業参加度 10%

【教科書】『Weekly J Book1-日本語で話す 6 週間』(凡人社) (購入必須)

【参考図書】 特になし

【その他】

- ・課ごとにチェックテストを実施する。
- ・火曜と木曜は別々に評価する。それぞれ 4 回以上欠席すると評価の対象外。
- ・20 分以上の遅刻・早退は欠席。また遅刻や早退は 3 回で欠席 1 回と数える。
- ・2 学期目に必修科目を履修する場合は、教員に相談すること
(改めてプレイスメントテストを受けなければならない場合がある)。

講義名：日本語 I a<必修08～> 01<春> 曜時1：木4 担当教員名：村中 淑子		ナンバリングコード：JPN1000 曜時2：	
研究室：聖アンデレ館6階625号室		オフィスアワー：月曜昼休み、木曜昼休み	
メールアドレス：tmuranaka@andrew.ac.jp			
授業形態			
『講義』『アクティブラーニング』『グループワーク』			
講義・演習概要			
外国人留学生在、大学で勉強する際に必要となるアカデミックな日本語力のうち、とくに書く力を養うことを目指して授業を進める。日本語の語彙と文型を理解し、適切なレポートを作れるようになるための基礎的な練習を行う。			
学習(到達)目標			
(1)助詞の使い方、活用形、自動詞・他動詞・受け身、呼応などの文法事項を理解し、適切な日本語の文が作れる。 (2)漢字・ひらがな・カタカナの使い方や読点等、文の形の整え方を理解し、適切に実践できる。 (3)文末表現、書き言葉らしさ、接続詞、レポートの基本的な形式を理解し、適切に実践できる。			
講義・演習計画			
【第1回】授業の進め方の説明、クラス内の相互自己紹介活動、アンケートと個別面接(ニーズ・レディネス確認)			
【第2回】助詞の使い方、漢字の読み。			
【第3回】言葉の形の使い分け。			
【第4回】自動詞・他動詞・受け身。			
【第5回】復習。小テスト(1)。			
【第6回】呼応。			
【第7回】文末表現の調整。			
【第8回】カタカナの使い方。			
【第9回】復習。小テスト(2)。			
【第10回】読点の打ち方。			
【第11回】書き言葉らしさ。			
【第12回】文の長さ。			
【第13回】復習。小テスト(3)。			
【第14回】先生あてのEメールの書き方。			
【第15回】復習とまとめ。ワークシート(小レポート)課題。			
成績評価の方法			
試験	90%	レポート	10%
コメント	小テスト3回(それぞれ30点ずつ)と最終回の小レポート課題(10点)を合わせて評価する。それまでの学習項目の理解ができているかどうかをはかる。毎回の出席(万一、遠隔授業となった場合は遠隔出席)と課題の提出が原則です。4回以上の欠席(あるいは課題の未提出)は、授業内における理解度と成果の確認ができないため、評価の対象外とします。ただし、公認欠席は除きます。		
テキスト			
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	テキストは指定せず、コピー資料を配布する。
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
石黒圭ほか『留学生のためのここが大切文章表現のルール』(スリーエーネットワーク)			
事前および事後学習の指示 (事前学習 8 時間 ・事後学習 8 時間)			
ほぼ毎回、その回の項目に沿った課題を課す。課題については個別もしくは全体に向けてフィードバックするので、よく復習してテストに備えること。			
その他備考(担当教員用)			
キーワード			
備考(管理者用)			
外国人留学生のみ履修可能			

講義名：日本語 I a<必修08～> 02<春> 曜時1：水4 担当教員名：辰巳 委子		ナンバリングコード：JPAN1000 曜時2：	
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後	
メールアドレス： t63501@andrew.ac.jp			
授業形態			
『講義』『プレゼンテーション』『グループワーク』			
講義・演習概要			
外国人留学生在が大学生活に必要なアカデミックジャパニーズのうち、特に「書く力」を養う。 そのために、日本語の語彙と文型を理解し、適切な表現ができるように、基礎的な練習を行う。			
学習(到達)目標			
①文章表現に適した語彙・文法・表現を選ぶ力が身につく。 ②わかりやすい文章を書くことができる。 ③文末表現、書き言葉らしさ、接続詞、レポートの基本的な形式を理解し、書くことができる。			
講義・演習計画			
【第1回】オリエンテーション・助詞の使い方			
【第2回】言葉の形の使い分け			
【第3回】自動詞・他動詞・受け身			
【第4回】呼応			
【第5回】文末表現の調整			
【第6回】復習 ・ 小テスト(1)			
【第7回】ひらがなと漢字のバランス			
【第8回】読点の打ち方			
【第9回】原稿用紙の書き方			
【第10回】書き言葉らしさ			
【第11回】グラフを読む			
【第12回】復習 ・ 小テスト(2)			
【第13回】先生あてのEメールの書き方			
【第14回】復習とまとめ。小レポート課題。			
【第15回】復習とまとめ。小レポート課題			
成績評価の方法			
試験	60%	レポート	20%
コメント	小テスト:60% 課題(レポート)20% その他(授業への参加度)20% 小テスト(2回)とレポート課題に授業への参加度を合わせて、評価する。 ※原則として、4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができません。結果的に単位が認定されないこととなりますので、注意してください。		
テキスト			
著書	石黒圭・筒井千絵	タイトル	留学生のための ここが大切 文章表現のルール
ISBN	9784883195022	出版社	スリーエーネットワーク
教科書購入区分	大学オンライン販売	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
石黒圭・筒井千絵『留学生のためのここが大切文章表現のルール』(スリーエーネットワーク) 杉浦千里ほか『おしゃべりしながら書くことを楽しむ中級作文』(凡人社) 独立行政法人国際交流基金『まるごと 日本のことばと文化 初中級A2/中級B1』(三修社)			
事前および事後学習の指示 (事前学習 8 時間 ・事後学習 8 時間)			
・ほぼ毎回課題を出すので、授業で学んだことを復習し、小テストの準備をしておくこと。 ・この授業では書くだけでなく、話す活動も行うので、普段から社会の出来事に関心を持ち、アウトプットする練習をすること。 ・学習者の人数、レベル、関心に合わせて授業内容に変更が生じることがある。			
その他備考 (担当教員用)			
キーワード			
備考(管理者用)			
外国人留学生のみ履修可能			

講義名：日本語 I a<必修08～> 05<春> 曜時1: 金3 担当教員名: 辰巳 委子		ナンバリングコード: JPAN1000 曜時2:	
研究室: 兼任講師控室		オフィスアワー: 授業前後	
		メールアドレス: t63501@andrew.ac.jp	
授業形態			
『講義』 『プレゼンテーション』 『グループワーク』 『パソコン実習』			
講義・演習概要			
外国人留学生在が大学生活に必要なアカデミックジャパニーズのうち、特に「書く力」を養う。 そのために、日本語の語彙と文型を理解し、適切な表現ができるように、基礎的な練習を行う。			
学習(到達)目標			
①文章表現に適した語彙・文法・表現を選ぶ力が身につく。 ②わかりやすい文章を書くことができる。 ③文末表現、書き言葉らしさ、接続詞、レポートの基本的な形式を理解し、書くことができる。			
講義・演習計画			
【第1回】 オリエンテーション・助詞の使い方			
【第2回】 言葉の形の使い分け			
【第3回】 自動詞・他動詞・受け身			
【第4回】 呼応			
【第5回】 文末表現の調整			
【第6回】 復習 ・ 小テスト(1)			
【第7回】 ひらがなと漢字のバランス			
【第8回】 読点の打ち方			
【第9回】 原稿用紙の書き方			
【第10回】 書き言葉らしさ			
【第11回】 グラフを読む			
【第12回】 復習 ・ 小テスト(2)			
【第13回】 先生あてのEメールの書き方			
【第14回】 復習とまとめ。小レポート課題。			
【第15回】 復習とまとめ。小レポート課題			
成績評価の方法			
試験	60%	レポート	20%
コメント	小テスト:60% 課題(レポート)20% その他(授業への参加度)20% 小テスト(2回)とレポート課題に授業への参加度を合わせて、評価する。 ※原則として、4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができません。結果的に単位が認定されないこととなりますので、注意してください。		
テキスト			
著書	石黒圭 筒井千絵	タイトル	留学生のための ここが大切 文章表現のルール
ISBN	9784883195022	出版社	スリーエーネットワーク
教科書購入区分	大学オンライン販売	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
石黒圭・筒井千絵『留学生のためのここが大切文章表現のルール』(スリーエーネットワーク) 杉浦千里ほか『おしゃべりしながら書くことを楽しむ中級作文』(凡人社) 独立行政法人国際交流基金『まるごと 日本のことばと文化 初中級A2/ 中級B1』(三修社)			
事前および事後学習の指示 (事前学習 8 時間 ・事後学習 8 時間)			
・ほぼ毎回課題を出すので、授業で学んだことを復習し、小テストの準備をしておくこと。 ・この授業では書くだけでなく、話す活動も行うので、普段から社会の出来事に関心を持ち、アウトプットする練習をすること。 ・学習者のレベル、関心に合わせて授業内容に変更が生じることがある。			
その他備考(担当教員用)			
キーワード			
備考(管理者用)			

講義名：日本語 I b<必修08～> 01<春> 曜時1：火3 担当教員名：吉岡 美穂		ナンバリングコード：JPAN1000 曜時2：			
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後		メールアドレス：	
授業形態					
『講義』『プレゼンテーション』『グループワーク』					
講義・演習概要					
新聞、雑誌、文献などから国内外に関するニュース記事を中心に内容を理解する。 他の留学生の意見、考え方の違いを比較しながら異文化理解を深めていく。					
学習(到達)目標					
1) 様々なテーマを読み、話し合いを通して異なる文化の人々の相違点を学ぶ。 2) 人の意見を尊重して聞くことの重要性を学ぶ。					
講義・演習計画					
【第1回】オリエンテーション					
【第2回】読解演習					
【第3回】読解演習					
【第4回】読解演習					
【第5回】読解演習					
【第6回】読解演習					
【第7回】クラス発表					
【第8回】読解演習					
【第9回】読解演習					
【第10回】読解演習					
【第11回】読解演習					
【第12回】読解演習					
【第13回】読解演習					
【第14回】クラス発表					
【第15回】試験およびまとめ					
成績評価の方法					
試験	30%	レポート	20%	その他	50%
コメント	①その他50%の評価は宿題20%、漢字クイズ20%、発表や参加貢献度(コメントシート提出)10%の合計となります。 ②4回以上の欠席(あるいは課題の未提出)は授業内における理解度と成果の確認ができないため、評価の対象外とします。 ただし、公認欠席は除きます。				
テキスト					
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
参考文献					
参考文献は授業中に紹介する。					
事前および事後学習の指示（事前学習 8 時間 ・事後学習 8 時間）					
毎週、読解の宿題があるので翌週に提出する。宿題から漢字テストを授業の始めに行う。					
その他備考(担当教員用)					
キーワード					
備考(管理者用)					
外国人留学生のみ履修可能					

講義名：日本語 I b<必修08～> 02<春> 曜時1：金3 担当教員名：島 千尋		ナンバリングコード：JPAN1000 曜時2：			
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後		メールアドレス： cshima@andrew.ac.jp	
授業形態					
『その他(語学科目)』 『実務経験のある教員による授業①(日本語学校・専門学校・他大学での日本語教師経験のある教員が日本語授業を担当する)』					
講義・演習概要					
留学生が大学で授業を受けるために必要な日本語力のうち「読む力」「聞く力」を伸ばす練習を行う。読んだもの・聞いたものを要約する練習も行う。					
学習(到達)目標					
【読解】ある程度の長さを持った論述文を、全体の構成を考えながら読み通し、論旨を把握するとともに重要な細部を見つけ出して要約できるようになる。 【聴解】ある程度の長さの講義を、視覚資料を見ながら聞き、論旨や概要をとらえるとともに重要な細部を聞き取って、ノートを取ったり要約したりできるようになる。					
講義・演習計画					
【第1回】 オリエンテーション、M-portの使い方、桃山gmailの使い方、読解小テスト					
【第2回】 漢字テストとディクテーション、聴解①「富士山」(全体問題)					
【第3回】 漢字テストとディクテーション、聴解②「富士山」(詳細問題)＋要約					
【第4回】 漢字テストとディクテーション、読解①「風呂場の戸」(全体問題)					
【第5回】 漢字テストとディクテーション、読解②「風呂場の戸」(詳細問題)					
【第6回】 漢字テストとディクテーション、聴解③「札幌のお祭り」(全体問題)					
【第7回】 漢字テストとディクテーション、聴解④「札幌のお祭り」(詳細問題)					
【第8回】 漢字テストとディクテーション、読解③「ストレス対処法」(全体問題)					
【第9回】 漢字テストとディクテーション、読解④「ストレス対処法」(詳細問題)					
【第10回】 漢字テストとディクテーション、読解⑤「ストレス対処法」(要約)					
【第11回】 漢字テストとディクテーション、聴解⑤「失敗学」(全体問題)					
【第12回】 漢字テストとディクテーション、聴解⑥「失敗学」(詳細問題)＋要約					
【第13回】 漢字テストとディクテーション、読解⑥「小学校の英語」(全体問題)					
【第14回】 漢字テストとディクテーション、読解⑦「小学校の英語」(詳細問題)					
【第15回】 試験とまとめ					
成績評価の方法					
試験	40%	レポート	40%	その他	20%
コメント	・レポートに含まれる項目：提出物(課題)10%、漢字クイズとディクテーション10%、読解問題と聴解問題20% ・その他に含まれる項目：授業態度・参加度 日本語力を上げるためには、日ごろの努力の積み重ねが大変重要です。そのため、試験だけでなく、宿題や毎回の読解および聴解問題の出来具合、授業態度を重視します。 毎回出席が原則です。4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができません。結果的に単位が認定されませんので注意してください。ただし、公認欠席は除きます。				
テキスト					
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	プリント配布	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
参考文献					
毎回、配付教材あり。					
事前および事後学習の指示 (事前学習 8 時間 ・事後学習 8 時間)					
・読解については、残った問題に解答して、指定の日時までにM-Portに提出すること。 ・毎回、漢字テストのための準備をしておくこと。 ・課された課題を指定の日時までに必ず提出すること。					
その他備考(担当教員用)					
キーワード					
備考(管理者用)					
外国人留学生のみ履修可能					

登録状況	公開
完了登録日時	
最終更新者	職員ユーザー
講義コード	1286110005
講義名称	日本語Ⅰb＜必修08～＞ 05＜春＞
科目英文名	JapaneseⅠb
代表ナンバリングコード	JPAN1000
単位数	1.0
時間割	春学期: 水曜日 4 時限
講義開講時期	春学期

担当教員

氏名	オフィスアワー	メールアドレス	研究室
◎ 福島 薫	授業前後		兼任講師控室

授業形態	講義	グループワーク
------	----	---------

講義・演習概要	・大学での授業に必要な読む力、考える力を身につける・エッセイ、論説文、新聞、物語など多彩なジャンルの読み物を読む・基本的には講義形式だが、テーマについてクラスメートとディスカッションする時間を設ける・「速読練習」と書いてある回では、各課の最後にあるコラムを読み、短時間で内容を把握する練習をする
学習（到達）目標	文章全体の主題・主旨を、的確にとらえることができるようになる

講義・演習計画

回	内 容
第1回	オリエンテーション
第2回	読解 1課
第3回	読解 2課
第4回	読解 3課
第5回	読解 4課
第6回	読解 5課
第7回	中間試験
第8回	速読練習
第9回	読解 6課
第10回	読解 7課
第11回	読解 8課
第12回	読解 9課
第13回	読解 10課
第14回	速読練習
第15回	試験とまとめ

成績評価の方法（割合）

「成績評価の方法（コメント）」についても合わせてご確認ください。

試験	50%
----	-----

レポート	
その他	50%

成績評価の方法（コメント）	終試験50％、小テスト25％、意見発表25％ 4回以上の欠席は授業内における理解度と成果の確認ができないため、評価の対象外とします。ただし公認欠席は除きます。
---------------	---

テキスト

	著者	タイトル	教科書購入区分	ISBN	出版社	備考
1.	清水正幸／林真弓	日本語学習者のための読解厳選テーマ10 中級	大学オンライン販売	9784893589132	凡人社	

事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間）	毎回、語彙の意味と漢字の読み方の予習テストと復習テストを行うので、きちんと勉強しておくこと
--------------------------------------	---

講義名：日本語Ⅱa<必修08～> 01<秋> 曜時1：木4 担当教員名：村中 淑子		ナンバリングコード：JPN1010 曜時2：	
研究室：聖アンデレ館6階625号室		オフィスアワー：月曜昼休み、木曜昼休み	
メールアドレス：tmuranaka@andrew.ac.jp			
授業形態			
『講義』『アクティブラーニング』『グループワーク』			
講義・演習概要			
外国人留学生が、大学で勉強する際に必要となるアカデミックな日本語力のうち、とくに書く力を養うことを目指して授業を進める。 日本語で適切なレポートをかけるようになるための練習を行う。			
学習(到達)目標			
(1)アカデミックワードを理解し、レポートにふさわしい文体で文章が書ける。 (2)見やすくわかりやすい文章が書ける。 (3)Wordやメールソフトを用いて、適切な文章作成ができる。			
講義・演習計画			
【第1回】授業の進め方の説明、3分間スピーチ。個別面接(レディネス確認)。			
【第2回】アカデミックワードと日常語。			
【第3回】見やすい表記。わかりやすい語順。			
【第4回】接続表現			
【第5回】漢字の使い分け			
【第6回】復習と小テスト(1)			
【第7回】結論を先に述べる。			
【第8回】事実か意見か。			
【第9回】データの解釈。			
【第10回】復習と小テスト(2)			
【第11回】レポートにふさわしい文体と段落構成。			
【第12回】レポートテーマの設定の仕方。			
【第13回】レポートの構成。			
【第14回】復習と小テスト(3)			
【第15回】まとめ。ワークシート(小レポート)。			
成績評価の方法			
試験	90%	レポート	10%
コメント	その他		
小テスト3回(それぞれ30点ずつ)と最終回の小レポート課題(10点)を合わせて評価する。それまでの学習項目の理解ができているかどうかをはかる。 毎回の出席(万一、遠隔授業となった場合は遠隔出席)と課題の提出が原則です。 4回以上の欠席(あるいは課題の未提出)は、授業内における理解度と成果の確認ができないため、評価の対象外とします。ただし、公認欠席は除きます。			
テキスト			
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	テキストは指定せず、コピー資料を配布する。
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
安部朋世・福岡健伸・橋本 修編著『大学生のための日本語表現トレーニング ドリル編 トレーニングシート』(三省堂) 野田尚史・森口稔『日本語を書くトレーニング』(ひつじ書房) 石井一成『大学生のためのレポート・論文の書き方』(ナツメ社) 南田勝也・谷田部圭介・山下玲子『ゼミで学ぶスタディスキル』(北樹出版)			
事前および事後学習の指示 (事前学習 8 時間 ・事後学習 8 時間)			
ほぼ毎回、その回の項目に沿った作文課題を課す。個別もしくは全体に向けてフィードバックするのでよく復習してテストに備えること。			
その他備考(担当教員用)			
キーワード			
備考(管理者用)			
外国人留学生のみ履修可能			

講義名：日本語Ⅱa<必修08～> 02<秋> 曜時1：水4 担当教員名：辰巳 委子		ナンバリングコード：JPN1010 曜時2：	
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後	
メールアドレス： t63501@andrew.ac.jp			
授業形態			
『講義』『プレゼンテーション』『グループワーク』『パソコン実習』			
講義・演習概要			
外国人留学生在が大学生活に必要なアカデミックジャパニーズのうち、特に「書く力」を養う。 そのために、日本語の語彙と文型を理解し、日本語で適切なレポートをかけるようになるための練習を行う。			
学習(到達)目標			
①文章表現に適した語彙・文法・表現を選ぶ力が身につく。 ②読み手に伝わる(わかりやすい)文章を書くことができる。 ③自分が関心のあるテーマについて、ある程度まとまりのある文章を書くことができる。 ④正しい作文のルールやレポートの基本的な形式を理解し、正確な文章を作成する技術を身につける。			
講義・演習計画			
【第1回】オリエンテーション・作文のルール			
【第2回】文の長さ			
【第3回】指示詞による文の接続			
【第4回】接続詞と文の構成			
【第5回】読み手への配慮			
【第6回】小テスト			
【第7回】辞書の危険性			
【第8回】専門用語の選び方			
【第9回】レポートの基本的な書き方① 意見と事実			
【第10回】レポートの基本的な書き方② 複雑な内容の整理			
【第11回】立場のある文章の書き方			
【第12回】グラフを読む			
【第13回】小テスト			
【第14回】試験とまとめ			
【第15回】試験のフィードバック			
成績評価の方法			
試験	40%	レポート	40%
コメント	期末試験：40% ・レポート(小テスト：20%・課題：20%)・授業への参加度：20% ※原則として、4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができません。結果的に単位が認定されないこととなりますので、注意してください。		
テキスト			
著書	石黒圭・筒井千絵	タイトル	留学生のための ここが大切 文章表現のルール
ISBN	9784883195022	出版社	スリーエーネットワーク
教科書購入区分	大学オンライン販売	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
石黒圭・筒井千絵『留学生のためのここが大切文章表現のルール』(スリーエーネットワーク) 独立行政法人国際交流基金『まるごと 日本のことばと文化 中級B1』(三修社) 安井朱美・井手友里子他『4技能でひろがる中級日本語カルテットⅡ』(the japan times)			
事前および事後学習の指示 (事前学習 8 時間 ・事後学習 8 時間)			
・ほぼ毎回課題を出すので、授業で学んだことを復習し、小テストの準備をしておくこと。 ・この授業では書くだけでなく、話す活動も行うので、普段から社会の出来事に関心を持ち、アウトプットする練習をすること。 ・学習者の人数、レベル、関心に合わせて授業内容に変更が生じることがある。			
その他備考(担当教員用)			
キーワード			
備考(管理者用)			
外国人留学生のみ履修可能			

講義名：日本語Ⅱa<必修08～> 05<秋> 曜時1：金3 担当教員名：辰巳 委子		ナンバリングコード：JPN1010 曜時2：	
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後	
メールアドレス： t63501@andrew.ac.jp			
授業形態			
『講義』『プレゼンテーション』『グループワーク』『パソコン実習』			
講義・演習概要			
外国人留学生在が大学生活に必要なアカデミックジャパニーズのうち、特に「書く力」を養う。 そのために、日本語の語彙と文型を理解し、日本語で適切なレポートをかけるようになるための練習を行う。			
学習(到達)目標			
①文章表現に適した語彙・文法・表現を選ぶ力が身につく。 ②読み手に伝わる(わかりやすい)文章を書くことができる。 ③自分が関心のあるテーマについて、ある程度まとまりのある文章を書くことができる。 ④正しい作文のルールやレポートの基本的な形式を理解し、正確な文章を作成する技術を身につける。			
講義・演習計画			
【第1回】オリエンテーション・作文のルール			
【第2回】文の長さ			
【第3回】指示詞による文の接続			
【第4回】接続詞と文の構成			
【第5回】読み手への配慮			
【第6回】小テスト			
【第7回】辞書の危険性			
【第8回】専門用語の選び方			
【第9回】レポートの基本的な書き方① 意見と事実			
【第10回】レポートの基本的な書き方② 複雑な内容の整理			
【第11回】立場のある文章の書き方			
【第12回】グラフを読む			
【第13回】小テスト			
【第14回】試験とまとめ			
【第15回】試験のフィードバック			
成績評価の方法			
試験	40%	レポート	40%
コメント	期末試験：40% ・レポート(小テスト：20%・課題：20%)・授業への参加度：20% ※原則として、4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができません。結果的に単位が認定されないこととなりますので、注意してください。		
テキスト			
著書	石黒圭 筒井千絵	タイトル	留学生のための ここが大切 文章表現のルール
ISBN	9784883195022	出版社	スリーエーネットワーク
教科書購入区分	大学オンライン販売	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
石黒圭・筒井千絵『留学生のためのここが大切文章表現のルール』(スリーエーネットワーク) 独立行政法人国際交流基金『まるごと 日本のことばと文化 中級B1』(三修社) 安井朱美・井手友里子他『4技能でひろがる中級日本語カルテットⅡ』(the japan times)			
事前および事後学習の指示 (事前学習 8 時間 ・事後学習 8 時間)			
・ほぼ毎回課題を出すので、授業で学んだことを復習し、小テストの準備をしておくこと。 ・この授業では書くだけでなく、話す活動も行うので、普段から社会の出来事に関心を持ち、アウトプットする練習をすること。 ・学習者のレベル、関心に合わせて授業内容に変更が生じることがある。			
その他備考(担当教員用)			
キーワード			
備考(管理者用)			

講義名：日本語Ⅱb＜必修08～＞ 01＜秋＞ 曜時1：火3 担当教員名：吉岡 美穂		ナンバリングコード：JPAN1010 曜時2：			
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後		メールアドレス：	
授業形態					
『講義』『プレゼンテーション』『グループワーク』					
講義・演習概要					
春学期に引き続き、新聞、雑誌、文献などから国内外のニュースを中心に読解練習を行う。 テーマにそってのディスカッションや、発表を行う。					
学習(到達)目標					
他者との話し合いを通して、積極的に人の意見を聞く力と他者の意見を尊重する重要性を学ぶ。 自分の意見を分かりやすく伝えることができるようになることを目的とする。					
講義・演習計画					
【第1回】オリエンテーション					
【第2回】読解演習					
【第3回】読解演習					
【第4回】読解演習					
【第5回】読解演習					
【第6回】読解演習					
【第7回】クラス発表					
【第8回】読解演習					
【第9回】読解演習					
【第10回】読解演習					
【第11回】読解演習					
【第12回】読解演習					
【第13回】読解演習					
【第14回】クラス発表					
【第15回】試験およびまとめ					
成績評価の方法					
試験	30%	レポート	20%	その他	50%
コメント	①その他50%の評価は宿題20%、漢字クイズ20%、発表や参加貢献度(コメントシートなど)10%の合計となります。 ②4回以上の欠席(あるいは課題の未提出)は授業内における理解度と成果の確認ができないため、評価の対象外とします。 ただし、公認欠席は除きます。				
テキスト					
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
参考文献					
教員が毎回資料を用意する。					
事前および事後学習の指示（事前学習 8 時間 ・事後学習 8 時間）					
毎週、宿題があるので翌週に提出。漢字テストを授業の始めに行う。					
その他備考(担当教員用)					
キーワード					
備考(管理者用)					
外国人留学生のみ履修可能					

講義名：日本語Ⅱb＜必修08～＞ 02＜秋＞ 曜時1：金3 担当教員名：島 千尋		ナンバリングコード：JPAN1010 曜時2：			
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後	メールアドレス： cshima@andrew.ac.jp		
授業形態					
『その他(語学科目)』 『実務経験のある教員による授業①(日本語学校・専門学校・他大学での日本語教師経験のある教員が日本語授業を担当する)』					
講義・演習概要					
留学生が大学で授業を受けるために必要な日本語力のうち「読む力」「聞く力」を伸ばす練習を行う。読んだもの・聞いたものを要約する練習も行う。					
学習(到達)目標					
【読解】春学期よりやや難易度の高い論文を、全体の構成を考えながら読み通し、論旨を把握するとともに重要な細部を見つけ出して要約し、それについての意見を書くことができるようになる。 【聴解】春学期よりやや難易度の高い講義を、視覚資料を見ながら聞き、論旨や概要をとらえるとともに重要な細部を聞き取ってノートを取ったり要約したりし、さらにそれについての意見を書くことができるようになる。					
講義・演習計画					
【第1回】 オリエンテーション、聴解①「新幹線のおでこ」(全体問題)					
【第2回】 漢字テストとディクテーション、聴解②「新幹線のおでこ」(詳細問題)＋要約					
【第3回】 漢字テストとディクテーション、読解①「子供の名前」(全体問題)					
【第4回】 漢字テストとディクテーション、読解②「子供の名前」(詳細問題)					
【第5回】 漢字テストとディクテーション、聴解③「落語」(全体問題)					
【第6回】 漢字テストとディクテーション、聴解④「落語」(詳細問題)＋意見					
【第7回】 漢字テストとディクテーション、読解③「IT」(全体問題)					
【第8回】 漢字テストとディクテーション、読解④「IT」(詳細問題)					
【第9回】 漢字テストとディクテーション、読解⑤「IT」(意見)					
【第10回】 漢字テストとディクテーション、聴解⑤ 講義を聞く(前半)					
【第11回】 漢字テストとディクテーション、聴解⑥ 講義を聞く(後半)					
【第12回】 漢字テストとディクテーション、読解⑥「カラスの自動車利用行動」(全体問題)					
【第13回】 漢字テストとディクテーション、読解⑦「カラスの自動車利用行動」(詳細問題)					
【第14回】 漢字テストとディクテーション、聴解⑦「南極」					
【第15回】 試験とまとめ					
成績評価の方法					
試験	40%	レポート	40%	その他	20%
コメント	・レポートに含まれる項目：提出物(課題)10%、漢字クイズとディクテーション10%、読解問題と聴解問題20% ・その他に含まれる項目：授業態度・参加度 日本語力を上げるためには、日ごろの努力の積み重ねが大変重要です。そのため、試験だけでなく、宿題や毎回の読解および聴解問題の出来具合、授業態度を重視します。 毎回出席が原則です。4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができません。結果的に単位が認定されませんので注意してください。ただし、公認欠席は除きます。				
テキスト					
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	プリント配布	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
参考文献					
毎回、配付教材あり。					
事前および事後学習の指示 (事前学習 8 時間 ・事後学習 8 時間)					
・読解については、残った問題に解答して、指定の日時までにM-Portに提出すること。 ・毎回、漢字テストのための準備をしておくこと。 ・課された課題を指定の日時までに必ず提出すること。					
その他備考(担当教員用)					
キーワード					
備考(管理者用)					
外国人留学生のみ履修可能					

登録状況	公開
完了登録日時	
最終更新者	職員ユーザー
講義コード	1286310005
講義名称	日本語Ⅱb＜必修08～＞ 05＜秋＞
科目英文名	JapaneseⅡb
代表ナンバリングコード	JPAN1010
単位数	1.0
時間割	秋学期: 水曜日4時限
講義開講時期	秋学期

担当教員

氏名	オフィスアワー	メールアドレス	研究室
◎ 福島 薫	授業前後		兼任講師控室

授業形態	講義	グループワーク
------	----	---------

講義・演習概要	・大学での授業に必要な読む力、考える力を身につける・エッセイ、論説文、新聞、物語など多彩なジャンルの読み物を読む・基本的には講義形式だが、テーマについてクラスメートとディスカッションする時間を設ける・「速読練習」と書いてある回では、各課の最後にあるコラムを読み、短時間で内容を把握する練習をする
学習（到達）目標	春学期よりもさらに高度な文章を読み、言葉の意味が分からなくても推測しながら読み進める力を身につける

講義・演習計画

回	内容
第1回	オリエンテーション
第2回	読解 1課
第3回	読解 2課
第4回	読解 3課
第5回	読解 4課
第6回	読解 5課
第7回	中間試験
第8回	速読練習
第9回	読解 6課
第10回	読解 7課
第11回	読解 8課
第12回	読解 9課
第13回	読解 10課
第14回	速読練習
第15回	試験とまとめ

成績評価の方法（割合）

「成績評価の方法（コメント）」についても合わせてご確認ください。

試験	50%
----	-----

レポート	
その他	50%

成績評価の方法（コメント）	最終試験50%、小テスト25%、意見発表25% 4回以上の欠席は授業内における理解度と成果の確認ができないため、評価の対象外とします。ただし公認欠席は除きます。
---------------	--

テキスト

	著者	タイトル	教科書購入区分	ISBN	出版社	備考
1.	清水正幸／奥山貴之	日本語学習者のための読解厳選テーマ10 中上級	大学オンライン販売	9784893589026	凡人社	

事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間）	毎回、漢字の読み方の予習テストと復習テストを行うので、きちんと勉強しておくこと
--------------------------------------	---

講義名：日本語Ⅲa<必修08～> 01<春> 曜時1：木1 担当教員名：村中 淑子		ナンバリングコード：JPAN2000 曜時2：	
研究室：聖アンデレ館6階625号室		オフィスアワー：月曜昼休み、木曜昼休み	
メールアドレス：tmuranaka@andrew.ac.jp			
授業形態			
『講義』『アクティブラーニング』『グループワーク』			
講義・演習概要			
外国人留学生在大学の授業におけるレポートを書くための助けとなるような作業を行う。			
学習(到達)目標			
(1)文章のテーマ・問い・結論を発見できる。 (2)文章の中の二項対立や筆者の立場を把握し、内容を整理して理解できる。 (3)Wordによるレポートが適切な形で書ける。			
講義・演習計画			
【第1回】授業の進め方の説明、クラス内の相互自己紹介活動、アンケートと個別面接(ニーズ・レディネス確認)			
【第2回】文章のテーマの発見。			
【第3回】文章の問いの発見。			
【第4回】文章の結論の発見。			
【第5回】小テスト(1)			
【第6回】二項対立の発見1。			
【第7回】二項対立の発見2。			
【第8回】筆者の立場の発見。			
【第9回】文章の内容整理。			
【第10回】小テスト(2)			
【第11回】現代の日本社会に関する新聞記事の読み取り1			
【第12回】現代の日本社会に関する新聞記事の読み取り2			
【第13回】パターンを用いた作文の練習。			
【第14回】小テスト(3)			
【第15回】まとめ。ワークシート(小レポート)課題。			
成績評価の方法			
試験	90%	レポート	10%
コメント	小テスト3回(それぞれ30点ずつ)と最終回の小レポート課題(10点)を合わせて評価する。それまでの学習項目の理解ができているかどうかをはかる。毎回の出席(万一、遠隔授業となった場合は遠隔出席)と課題の提出が原則です。4回以上の欠席(あるいは課題の未提出)は、授業内における理解度と成果の確認ができないため、評価の対象外とします。ただし、公認欠席は除きます。		
テキスト			
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	テキストは指定せず、コピー資料を配布する。
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
一橋大学留学生センター『留学生のためのストラテジーを使って学ぶ文章の読み方』(スリーエーネットワーク)、C&P日本語教育・教材研究会『日本語作文Ⅱー中級後期から上級までの作文と論文作法ー』専門教育出版			
事前および事後学習の指示 (事前学習 8 時間 ・事後学習 8 時間)			
毎回、その回の項目に沿った課題を課す。個別にフィードバックするので、よく復習してテストに備えること。			
その他備考(担当教員用)			
キーワード			
備考(管理者用)			
外国人留学生のみ履修可能			

講義名：日本語Ⅲa<必修08～> 02<春> 曜時1：月2 担当教員名：辰巳 委子		ナンバリングコード：JPAN2000 曜時2：	
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後	
メールアドレス： t63501@andrew.ac.jp			
授業形態			
『講義』『プレゼンテーション』『グループワーク』『パソコン実習』			
講義・演習概要			
外国人留学生在大学の授業で学ぶアカデミックジャパニーズにおいて、やや専門的な内容を書く力を養う。レポートや論文で、説明や報告など、結束性のある文章が書けるようになることを目指す。			
学習(到達)目標			
①文章のテーマ・問い・結論を発見できる。 ②文章の中の二項対立や筆者の立場を把握し、内容を整理して理解できる。 ③根拠を示しながら、賛成や反対の理由を挙げ、利点や不利な点を説明できる。 ④レポートの形式を理解し、正確な文章を作成する技術を身につける。			
講義・演習計画			
【第1回】オリエンテーション			
【第2回】アカデミックライティングとは			
【第3回】指示表現・接続表現			
【第4回】指示表現・接続表現			
【第5回】主張表現			
【第6回】テーマに沿った意見文			
【第7回】視点・呼応の表現			
【第8回】発表			
【第9回】引用の表現			
【第10回】データの表現①			
【第11回】データの表現②			
【第12回】レポート作成①			
【第13回】レポート作成②			
【第14回】まとめと試験			
【第15回】試験フィードバックとふりかえり			
成績評価の方法			
試験	40%	レポート	50%
コメント	その他		
10%			
期末試験：40% レポート50%（小テスト：20% 課題：20%・発表：10%） その他（授業への参加度）10% ※原則として、4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができません。結果的に単位が認定されないことにつながりますので、注意してください。			
テキスト			
著書	伊集院都子・高野愛子他	タイトル	日本語を学ぶ人のためのアカデミックライティング講座
ISBN	978-4-86639-360-5	出版社	
教科書購入区分	大学オンライン販売	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
伊集院都子・高野愛子他『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』（アスク出版） 佐々木瑞枝・細井和代・藤尾喜代子『大学で学ぶための日本語ライティング』（the japan times） アカデミックジャパニーズ研究会『大学・大学院 留学生のための日本語4論文作成編』（アルク）			
事前および事後学習の指示（事前学習 8 時間 ・事後学習 8 時間）			
・授業で学んだことを復習し、小テストの準備をしておくこと。 ・この授業では書くだけでなく、読む活動や話す活動も行うので、普段から社会の出来事に関心を持ち、アウトプットする練習をすること。 ・学習者の人数、レベル、関心に合わせて授業内容に変更が生じることがある。			
その他備考（担当教員用）			
キーワード			
備考(管理者用)			
外国人留学生のみ履修可能			

講義名：日本語Ⅲb＜必修08～＞ 01＜春＞ 曜時1：火2 担当教員名：吉岡 美穂		ナンバリングコード：JPAN2000 曜時2：			
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後		メールアドレス：	
授業形態					
『講義』『プレゼンテーション』『グループワーク』					
講義・演習概要					
講義、演習、ビデオ、留学生の体験などから日本と異文化について考え、学んでいく。 参加型授業なので、学生の積極的な参加が必要となる。					
学習(到達)目標					
日本の文化を学びながら、自文化に対する気づきを促す。自分の国では「常識」であることが、他国では「常識ではない」ことに気づくことを目的とする。日本人のコミュニケーションの特徴を学びながら、自分のコミュニケーションの仕方に気づき、異文化理解を深める能力を養う。					
講義・演習計画					
【第1回】オリエンテーション					
【第2回】文化とは何か？					
【第3回】文化とは何か？(2)					
【第4回】コミュニケーションとは？					
【第5回】コミュニケーションの特徴					
【第6回】カルチャーショック					
【第7回】カルチャーショックから学ぶ					
【第8回】情報のとらえ方、伝わり方					
【第9回】クラス発表					
【第10回】ステレオタイプと偏見					
【第11回】ステレオタイプと偏見(2)					
【第12回】ビデオ鑑賞					
【第13回】コミュニケーションと自己開示					
【第14回】異文化適応					
【第15回】試験およびまとめ					
成績評価の方法					
試験	50%	レポート	30%	その他	20%
コメント	①テスト内容は授業で学んだテーマから記述式で出題する。 ②その他20%の評価はクラスでの発表と参加貢献度(コメントシート提出など)。 ③4回以上の欠席(あるいは課題の未提出)は授業内における理解度と成果の確認ができないため、評価の対象外とする。 ただし、公認欠席は除く。				
テキスト					
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
参考文献					
教員が毎回資料を配布する。					
事前および事後学習の指示（事前学習 8 時間 ・事後学習 8 時間）					
宿題、課題は決められた期日に提出すること。					
その他備考(担当教員用)					
キーワード					
備考(管理者用)					
外国人留学生のみ履修可能					

講義名：日本語Ⅲb＜必修08～＞ 02＜春＞ 曜時1：木2 担当教員名：島 千尋		ナンバリングコード：JPAN2000 曜時2：			
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後		メールアドレス： cshima@andrew.ac.jp	
授業形態					
『その他（語学科目）』 『実務経験のある教員による授業①（日本語学校・専門学校・他大学での日本語教師経験のある教員が日本語授業を担当する）』					
講義・演習概要					
留学生が大学で授業を受けるために必要な日本語力のうち「読む力」「聞く力」を伸ばす練習を行う。読んだもの・聞いたものを要約する練習も行う。					
学習(到達)目標					
【読解】論文に近い難易度を持った長い論述文を、全体の構成を考えながら読み通し、論旨を把握するとともに重要な細部を見つけ出して要約できるようになる。 【聴解】長く、やや複雑な講義を、視覚資料を見ながら聞き、論旨や概要をとらえるとともに重要な細部を聞き取って、ノートを取ったり要約したりできるようになる。					
講義・演習計画					
【第1回】 オリエンテーション、聴解①「女性専用車両」					
【第2回】 漢字テストとディクテーション、読解①「日本人の時間意識」全体問題					
【第3回】 漢字テストとディクテーション、読解②「日本人の時間意識」詳細問題＋要約					
【第4回】 漢字テストとディクテーション、聴解①「津軽三味線」					
【第5回】 漢字テストとディクテーション、読解③「衝動買い」全体問題					
【第6回】 漢字テストとディクテーション、読解④「衝動買い」詳細問題					
【第7回】 漢字テストとディクテーション、聴解③「明治神宮の森」					
【第8回】 漢字テストとディクテーション、聴解④「明治神宮の森」要約					
【第9回】 漢字テストとディクテーション、読解⑤「日本人の意識」全体問題					
【第10回】 漢字テストとディクテーション、読解⑥「日本人の意識」詳細問題					
【第11回】 漢字テストとディクテーション、聴解⑤「渋滞学」					
【第12回】 漢字テストとディクテーション、読解⑦「「まじめ」の意味」全体問題					
【第13回】 漢字テストとディクテーション、読解⑧「「まじめ」の意味」詳細問題					
【第14回】 漢字テストとディクテーション、聴解⑥「そばをすする音」					
【第15回】 試験とまとめ					
成績評価の方法					
試験	40%	レポート	40%	その他	20%
コメント	・レポートに含まれる項目：提出物（課題）10%、漢字クイズとディクテーション10%、読解問題と聴解問題20% ・その他に含まれる項目：授業態度・参加度 日本語力を上げるためには、日ごろの努力の積み重ねが大変重要です。そのため、試験だけでなく、宿題や毎回の読解および聴解問題の出来具合、授業態度を重視します。 毎回出席が原則です。4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができません。結果的に単位が認定されませんので注意してください。ただし、公認欠席は除きます。				
テキスト					
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	プリント配布	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
参考文献					
毎回、配付教材あり。					
事前および事後学習の指示（事前学習 8 時間 ・事後学習 8 時間）					
・読解については、残った問題に解答して、指定の日時までにM-Portに提出すること。 ・毎回、漢字テストのための準備をしておくこと。 ・課された課題を指定の日時までに必ず提出すること。					
その他備考（担当教員用）					
キーワード					
備考(管理者用)					
外国人留学生のみ履修可能					

講義名：日本語Ⅳa＜必修08～＞ 01＜秋＞ 曜時1：木1 担当教員名：村中 淑子		ナンバリングコード：JPAN2010 曜時2：			
研究室：聖アンデレ館6階625号室		オフィスアワー：月曜昼休み、木曜昼休み			
メールアドレス：tmuranaka@andrew.ac.jp					
授業形態					
『講義』『アクティブラーニング』『グループワーク』					
講義・演習概要					
外国人留学生在大学の授業におけるレポートを書くための助けとなるような作業を行う。					
学習(到達)目標					
(1) 新聞記事を要約し、コメントの文章が書ける。 (2) 自分の関心に基づいて論文を探し、それを要約できる。 (3) 図表データをもとに考察し、わかりやすく説明する文章が書ける。					
講義・演習計画					
【第1回】授業の進め方の説明、3分間スピーチ。ワークシート記入。個別面接(レディネス確認)。					
【第2回】新聞記事の読み取りと要約。					
【第3回】新聞記事へのコメント作り。					
【第4回】新聞記事の読み取りと要約。					
【第5回】新聞記事へのコメント作り。					
【第6回】レポート(1) 新聞記事を用いた小レポート。					
【第7回】論文リスト作り。CiNiiを使って論文を探し、リストを作成する。					
【第8回】前回のリストの中から1本論文を選び、自分の言葉で要約する。					
【第9回】前回選んだ論文へのコメントを作成する。					
【第10回】レポート(2) これまでの作業(論文リスト作成と要約・コメント作り)をまとめてレポートの形に仕上げ、それをもとに、口頭発表する。					
【第11回】図表データに基づく結果と考察の書き方の練習1					
【第12回】図表データに基づく結果と考察の書き方の練習2					
【第13回】図表データに基づく結果と考察の書き方の練習3					
【第14回】レポート(3) 図表データに基づくレポート作成。					
【第15回】レポート返却、復習ワークシート。					
成績評価の方法					
試験		レポート	90%	その他	10%
コメント	小レポート3回(それぞれ30点ずつ)と最終回の復習ワークシート(10点)を合わせて評価する。 毎回の出席(万一、遠隔授業となった場合は遠隔出席)と課題の提出が原則です。 4回以上の欠席(あるいは課題の未提出)は、授業内における理解度と成果の確認ができないため、評価の対象外とします。ただし、公認欠席は除きます。				
テキスト					
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考	テキストは指定せず、コピー資料を配布する。		
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
参考文献					
米田明美ほか『大学生のための日本語表現実践ノート改訂版』風間書房、石井一成『大学生のためのレポート・論文の書き方』(ナツメ社)					
事前および事後学習の指示 (事前学習 8 時間 ・事後学習 8 時間)					
課題には個別にフィードバックするので、よく復習して、より良いレポート作成につなげること。					
その他備考(担当教員用)					
キーワード					
備考(管理者用)					
外国人留学生のみ履修可能					

講義名：日本語Ⅳa＜必修08～＞ 02＜秋＞ 曜時1：月2 担当教員名：辰巳 委子		ナンバリングコード：JPAN2010 曜時2：	
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後	
メールアドレス： t63501@andrew.ac.jp			
授業形態			
『講義』『プレゼンテーション』『グループワーク』『パソコン実習』			
講義・演習概要			
外国人留学生在大学の授業で学ぶアカデミックジャパニーズにおいて、やや専門的な内容を書く力を養う。レポートや論文で、説明や報告など、結束性のある文章が書けるようになることを目指す。			
学習(到達)目標			
①新聞記事や論文を要約し、コメントの文章が書ける。 ②自分が関心のある社会問題に詳細に説明することができる。 ③図表データをもとに考察し、論理的な文章が書ける。 ④説得力のあるプレゼンテーションができる。			
講義・演習計画			
【第1回】オリエンテーション・他己紹介			
【第2回】内容の構成(序論・本論・結論)			
【第3回】中心文・指示文			
【第4回】説得力のある論理展開			
【第5回】同意と反論			
【第6回】段落と文①			
【第7回】段落と文②			
【第8回】引用			
【第9回】図表・データの利用①			
【第10回】図表・データの利用②			
【第11回】レポート作成			
【第12回】発表準備			
【第13回】発表①			
【第14回】発表②			
【第15回】試験とまとめ			
成績評価の方法			
試験	40%	レポート	40%
コメント	期末試験：40% レポート40%(発表：20% 課題20%) その他(授業への参加度)20%		
※原則として、4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができません。結果的に単位が認定されないこととなりますので、注意してください。			
テキスト			
著書	伊集院都子・高野愛子他	タイトル	日本語を学ぶ人のためのアカデミックライティング講座
ISBN	978-4-86639-360-5	出版社	
教科書購入区分	大学オンライン販売	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
伊集院都子・高野愛子他『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』(アスク出版) 佐々木瑞枝・細井和代・藤尾喜代子『大学で学ぶための日本語ライティング』(the japan times) アカデミックジャパニーズ研究会『大学・大学院 留学生のための日本語4論文作成編』(アルク)			
事前および事後学習の指示 (事前学習 8 時間 ・事後学習 8 時間)			
・ほぼ毎回課題を出すので、授業で学んだことを復習し、小テストの準備をしておくこと。 ・この授業では書くだけでなく、話す活動も行うので、普段から社会の出来事に関心を持ち、アウトプットする練習をすること。 ・学習者の人数、レベル、関心に合わせて授業内容に変更が生じることがある。			
その他備考(担当教員用)			
キーワード			
備考(管理者用)			
外国人留学生のみ履修可能			

講義名：日本語Ⅳb＜必修08～＞ 01＜秋＞ 曜時1：火2 担当教員名：吉岡 美穂		ナンバリングコード：JPAN2010 曜時2：			
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後		メールアドレス：	
授業形態					
『講義』『プレゼンテーション』『グループワーク』					
講義・演習概要					
春学期に引き続き、講義、演習、ディスカッションを通して、異文化コミュニケーション能力を高めていく。 授業を通して異なる観点から物事を見る力を養う。					
学習(到達)目標					
日本人との接し方、関わり方を学ぶことにより、日本人との問題解決について考える。自文化と他文化に対する理解を深めながら、自分自身への気づきとなることを目的とする。					
講義・演習計画					
【第1回】オリエンテーション					
【第2回】価値観とは？					
【第3回】様々な価値観					
【第4回】家族観					
【第5回】結婚観					
【第6回】言語コミュニケーション					
【第7回】コミュニケーションスタイル					
【第8回】レポート発表					
【第9回】非言語コミュニケーションとは？					
【第10回】非言語コミュニケーションの種類					
【第11回】時間と空間					
【第12回】誤解はどこから生まれるのか					
【第13回】多文化共生に向けて					
【第14回】レポート発表					
【第15回】試験およびまとめ					
成績評価の方法					
試験	50%	レポート	30%	その他	20%
コメント	①テスト内容は授業で学んだテーマから記述式で出題する。 ②その他20%の評価はクラスでの発表と参加貢献度(コメントシート)。 ③4回以上の欠席(あるいは課題の未提出)は授業内における理解度と成果の確認ができないため、評価の対象外とする。 ただし、公認欠席は除く。				
テキスト					
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
参考文献					
教員が資料を配布する。テーマにそって参考文献を紹介する。					
事前および事後学習の指示（事前学習 8 時間 ・事後学習 8 時間）					
宿題、レポートの提出は期日に提出すること。					
その他備考(担当教員用)					
キーワード					
備考(管理者用)					
外国人留学生のみ履修可能					

講義名：日本語Ⅳb＜必修08～＞ 02＜秋＞ 曜時1：木2 担当教員名：島 千尋		ナンバリングコード：JPAN2010 曜時2：			
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後		メールアドレス： cshima@andrew.ac.jp	
授業形態					
『その他（語学科目）』 『実務経験のある教員による授業①（日本語学校・専門学校・他大学での日本語教師経験のある教員が日本語授業を担当する）』					
講義・演習概要					
留學生が大学で授業を受けるために必要な日本語力のうち「読む力」「聞く力」を伸ばす練習を行う。読んだもの・聞いたものを要約する練習も行う。					
学習(到達)目標					
【読解】論文や社説など難易度の高い論述文を、全体の構成を考えながら読み通し、論旨を把握するとともに重要な細部を見つけ出して要約し、それについての意見を書くことができるようになる。 【聴解】長く複雑な講義を、視覚資料を見ながら聞き、論旨や概要をとらえたとともに重要な細部を聞き取ってノートを取ったり要約したりし、さらにそれについての意見を書くことができるようになる。					
講義・演習計画					
【第1回】 オリエンテーション、聴解①「量」					
【第2回】 漢字テストとディクテーション、聴解②「バイオイレ」					
【第3回】 漢字テストとディクテーション、読解①「男女平等」(全体問題)					
【第4回】 漢字テストとディクテーション、読解②「男女平等」(詳細問題)＋意見					
【第5回】 漢字テストとディクテーション、聴解③「茶の湯」					
【第6回】 漢字テストとディクテーション、読解③「人口問題」					
【第7回】 漢字テストとディクテーション、読解④「地球温暖化」(全体問題)					
【第8回】 漢字テストとディクテーション、読解⑤「地球温暖化」(詳細問題)＋意見					
【第9回】 漢字テストとディクテーション、聴解④「不確実性の回避」					
【第10回】 漢字テストとディクテーション、読解⑥「遺伝子」					
【第11回】 漢字テストとディクテーション、聴解⑤ 講義を聞く					
【第12回】 漢字テストとディクテーション、読解⑦「環境問題」(全体問題)					
【第13回】 漢字テストとディクテーション、読解⑧「環境問題」(詳細問題)＋意見					
【第14回】 漢字テストとディクテーション、聴解⑥「防災教育」					
【第15回】 試験とまとめ					
成績評価の方法					
試験	40%	レポート	40%	その他	20%
コメント	・レポートに含まれる項目：提出物(課題)10%、漢字クイズとディクテーション10%、読解問題と聴解問題20% ・その他に含まれる項目：授業態度・参加度 日本語力を上げるためには、日ごろの努力の積み重ねが大変重要です。そのため、試験だけでなく、宿題や毎回の読解および聴解問題の出来具合、授業態度を重視します。 毎回出席が原則です。4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができません。結果的に単位が認定されませんので注意してください。ただし、公認欠席は除きます。				
テキスト					
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	プリント配布	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
参考文献					
毎回、配付教材あり。					
事前および事後学習の指示（事前学習 8 時間 ・事後学習 8 時間）					
・読解については、残った問題に解答して、指定の日時までにM-Portに提出すること。 ・毎回、漢字テストのための準備をしておくこと。 ・課された課題を指定の日時までに必ず提出すること。					
その他備考(担当教員用)					
キーワード					
備考(管理者用)					
外国人留學生のみ履修可能					

講義名：日本語特殊講義-Advanced Japanese 01<春> 曜日1：月4 担当教員名：岡田 裕子		ナンバリングコード：JPAN2100 曜日2：			
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後		メールアドレス：	
授業形態					
『講義』『プレゼンテーション』『グループワーク』					
講義・演習概要					
日本のさまざまな社会問題や行動様式に関して、アカデミックな内容の文章を読んだりデータを読み解いたりアカデミックな内容の文章を読んだりした上で、それをもとにディスカッションを行ったり、内容や意見をまとめたりする。また、文献調査やアンケート調査を行った上で、分析・考察したものを発表したり文章にまとめたりする。 ※履修者は、日本語能力試験(JLPT)N1合格程度の日本語力があることが望ましい。					
学習(到達)目標					
日本のさまざまな社会問題について分析や考察を行う。またその作業を通して、日本語の総合的な運用力を高める。					
講義・演習計画					
【第1回】ガイダンス、自己紹介、日本語力チェック					
【第2回】日本語と日本文化					
【第3回】日本の食文化と食生活					
【第4回】生活習慣と宗教					
【第5回】家族の在り方					
【第6回】住居と住環境					
【第7回】就職活動と労働					
【第8回】ジェンダー(企業)					
【第9回】ジェンダー(家庭)					
【第10回】エネルギー政策					
【第11回】若者の価値観					
【第12回】発表の準備					
【第13回】期末発表1					
【第14回】期末発表2					
【第15回】レポート作成					
成績評価の方法					
試験		レポート	20%	その他	80%
コメント	評価の内訳 期末課題：40%(発表20%、レポート20%) 平常課題：60%(授業参加度、毎回の授業の中で取り上げたトピックについてのミニレポート) ※授業には毎回出席してください。原則として、4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができないため、評価の対象外とします。				
テキスト					
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	プリント配布	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
参考文献					
事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間）					
事前の予習が必要な場合は前週に授業内で指示しますので、必ず授業に出席してください。					
その他備考（担当教員用）					
キーワード					
備考(管理者用)					
外国人留学生のみ履修可能☆14～24生のみ履修可能☆(旧:国際交流特別講義-Advanced Japanese)14～24生読替					

講義名：日本語特殊講義-Advanced Japanese 02<秋> 曜日1：月4 担当教員名：岡田 裕子		ナンバリングコード：JPAN2100 曜日2：			
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後		メールアドレス：	
授業形態					
『講義』『プレゼンテーション』『グループワーク』					
講義・演習概要					
日本のさまざまな社会問題や行動様式に関して、アカデミックな内容の文章を読んだりデータを読み解いたりアカデミックな内容の文章を読んだりした上で、それをもとにディスカッションを行ったり、内容や意見をまとめたりする。また、文献調査やアンケート調査を行った上で、分析・考察したものを発表したり文章にまとめたりする。 ※履修者は、日本語能力試験(JLPT)N1合格程度の日本語力があることが望ましい。					
学習(到達)目標					
日本のさまざまな社会問題について分析や考察を行う。またその作業を通して、日本語の総合的な運用力を高める。					
講義・演習計画					
【第1回】ガイダンス、自己紹介、日本語力チェック					
【第2回】日本語と日本文化					
【第3回】日本の食文化と食生活					
【第4回】生活習慣と宗教					
【第5回】家族の在り方					
【第6回】住居と住環境					
【第7回】就職活動と労働					
【第8回】ジェンダー(企業)					
【第9回】ジェンダー(家庭)					
【第10回】エネルギー政策					
【第11回】若者の価値観					
【第12回】発表の準備					
【第13回】期末発表1					
【第14回】期末発表2					
【第15回】レポート作成					
成績評価の方法					
試験		レポート	20%	その他	80%
コメント	評価の内訳 期末課題：40%(発表20%、レポート20%) 平常課題：60%(授業参加度、毎回の授業の中で取り上げたトピックについてのミニレポート) ※授業には毎回出席してください。原則として、4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができないため、評価の対象外とします。				
テキスト					
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	プリント配布	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
参考文献					
事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間）					
事前の予習が必要な場合は前週に授業内で指示しますので、必ず授業に出席してください。					
その他備考（担当教員用）					
キーワード					
備考(管理者用)					
外国人留学生のみ履修可能☆14～24生のみ履修可能☆(旧:国際交流特別講義-Advanced Japanese)14～24生読替					

講義名：日本語特殊講義-N1対策(聴解・読解) 01<春> 曜日1：月3 担当教員名：岡田 裕子		ナンバリングコード：JPAN2100 曜日2：			
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後		メールアドレス：	
授業形態					
『その他(語学の試験対策科目)』					
講義・演習概要					
日本語能力試験(JLPT)のN1対策授業。聴解・読解の分野について、N1レベルの内容を学び、問題演習を行う。					
学習(到達)目標					
N1合格レベルに必要な読解、聴解、語彙、表現等の知識を身につける。授業内または宿題等で演習を繰り返すことにより、JLPTの試験形式に慣れ、また聴解・読解のスキルの向上を目指す。					
講義・演習計画					
【第1回】ガイダンス、自己紹介、現在の日本語力チェック					
【第2回】聴解、読解(対比・言い換え)					
【第3回】聴解、読解(比喩・疑問提示文)					
【第4回】聴解、読解(指示語・主語や目的語を読み取る)					
【第5回】聴解、読解(下線部を意味を読み取る)					
【第6回】聴解、読解(理由や例を読み取る)					
【第7回】聴解、読解(全体の流れをつかむ1)					
【第8回】聴解、読解(全体の流れをつかむ2)					
【第9回】聴解、読解(広告やお知らせから情報を探し出す)					
【第10回】聴解、読解(説明書きや表から情報を探し出す)					
【第11回】聴解、読解(模試形式の総まとめ練習)					
【第12回】聴解、読解(内容理解1)					
【第13回】聴解、読解(内容理解2)					
【第14回】聴解、読解(内容理解3)					
【第15回】期末試験およびまとめ					
成績評価の方法					
試験	50%	レポート	0%	その他	50%
コメント	評価の内訳 期末試験：50% (授業で扱った出題形式で、読解および聴解の問題を出題し、理解度を測ります) 授業内課題：50% (小テスト、課題、宿題などを課し、授業参加度を測ります) ※授業には必ず毎回出席してください。毎回小テストを行いますが、遅刻欠席の場合は受けられません。 ※4回以上の欠席、あるいは課題の未提出は、授業の理解度や成果が確認できないため、評価の対象外とします。				
テキスト					
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	プリント配布	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
参考文献					
授業の中で指示する。					
事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間)					
課題などに備えて授業に臨むよう、授業内で方法等を指示する。					
その他備考(担当教員用)					
キーワード					
JLPT、N1、読解					
備考(管理者用)					
外国人留学生のみ履修可能☆(旧:国際交流特別講義-N1対策(聴解・読解))14～24生読替					

講義名：日本語特殊講義-N1対策(聴解・読解) 02<秋> 曜日1：月3 担当教員名：岡田 裕子		ナンバリングコード：JPAN2100 曜日2：			
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後		メールアドレス：	
授業形態					
『その他(語学の試験対策科目)』					
講義・演習概要					
日本語能力試験(JLPT)のN1対策授業。聴解・読解の分野について、N1レベルの内容を学び、問題演習を行う。					
学習(到達)目標					
N1合格レベルに必要な聴解、聴解、語彙、表現等の知識を身につける。授業内または宿題等で演習を繰り返すことにより、JLPTの試験形式に慣れ、また聴解・読解のスキル向上を目指す。					
講義・演習計画					
【第1回】ガイダンス、自己紹介、現在の日本語力チェック					
【第2回】聴解、読解(対比・言い換え)					
【第3回】聴解、読解(比喩・疑問提示文)					
【第4回】聴解、読解(指示語・主語や目的語を読み取る)					
【第5回】聴解、読解(下線部を意味を読み取る)					
【第6回】聴解、読解(理由や例を読み取る)					
【第7回】聴解、読解(全体の流れをつかむ1)					
【第8回】聴解、読解(全体の流れをつかむ2)					
【第9回】聴解、読解(広告やお知らせから情報を探し出す)					
【第10回】聴解、読解(説明書きや表から情報を探し出す)					
【第11回】聴解、読解(模試形式の総まとめ練習)					
【第12回】聴解、読解(内容理解1)					
【第13回】聴解、読解(内容理解2)					
【第14回】聴解、読解(内容理解3)					
【第15回】期末試験およびまとめ					
成績評価の方法					
試験	50%	レポート	0%	その他	50%
コメント	評価の内訳 期末試験：50% (授業で扱った出題形式で、読解および聴解の問題を出題し、理解度を測ります) 授業内課題：50% (小テスト、課題、宿題などを課し、授業参加度を測ります) ※授業には必ず毎回出席してください。毎回小テストを行いますが、遅刻欠席の場合は受けられません。 ※4回以上の欠席、あるいは課題の未提出は、授業の理解度や成果が確認できないため、評価の対象外とします。				
テキスト					
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	プリント配布	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
参考文献					
授業の中で指示する。					
事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間)					
課題などに備えて授業に臨むよう、授業内で方法等を指示する。					
その他備考(担当教員用)					
キーワード					
JLPT、N1、読解					
備考(管理者用)					
外国人留学生のみ履修可能☆(旧:国際交流特別講義-N1対策(聴解・読解))14～24生読替					

講義名：日本語特殊講義-N1対策(文法) 01<春> 曜時1：水2 担当教員名：三木 由里子		ナンバリングコード：JPAN2100 曜時2：			
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後		メールアドレス：	
授業形態					
『講義』					
講義・演習概要					
日本語能力試験(JLPT)N1レベルの文法の使い方を学び、使う練習をする。 ※この授業についていくためには、日本語能力試験N2レベルの日本語力を有している必要がある。					
学習(到達)目標					
日本語能力試験(JLPT)N1レベルの四択問題(試験の形式)に答えられるだけでなく、文法の使い方を身につけ、日常生活で運用できるようにする。					
講義・演習計画					
【第1回】ガイダンス、実力チェックなど ※最初の授業までに教科書を購入しておくこと。オンラインで購入する場合は届くまでに時間がかかることがあるので、できるだけ早く注文すること。					
【第2回】第1章					
【第3回】第2章					
【第4回】第3章(1)					
【第5回】第3章(2)					
【第6回】第4章					
【第7回】第5章(1)					
【第8回】第5章(2)					
【第9回】第5章(3)・第6章					
【第10回】第7章(1)					
【第11回】模擬試験・第7章(1)(2)					
【第12回】第8章(1)					
【第13回】第8章(2)					
【第14回】第9章					
【第15回】学期末試験およびまとめ					
成績評価の方法					
試験	50%	レポート	0%	その他	50%
コメント	・評価の内訳 試験：学期末試験 その他：平常点(提出物・小テスト・授業参加・授業への取り組み) ・原則として、4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができない。結果的に単位が認定されないことにつながるので注意すること。 ・学期末試験が60点未満の場合は評価の対象外とする。				
テキスト					
著書	ABK(公益財団法人 アジア学生文化協会)		タイトル	TRY! 日本語能力試験 文法から伸ばす日本語 N1【改訂版／英語版】	
ISBN	9784872179040		出版社	アスク	
教科書購入区分	大学オンライン販売		備考	必ず購入すること。コピーなどは不可。	
著書			タイトル		
ISBN			出版社		
教科書購入区分	選択なし		備考		
著書			タイトル		
ISBN			出版社		
教科書購入区分	選択なし		備考		
参考文献					
事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間)					
予習を前提として授業を進める。また、章が終わるごとに小テストを行う。					
その他備考(担当教員用)					
キーワード					
備考(管理者用)					
外国人留学生のみ履修可能☆(旧：国際交流特別講義-N1対策(文法))14～24生読替					

講義名：日本語特殊講義-N1対策(文法) 02<秋> 曜時1：水2 担当教員名：三木 由里子		ナンバリングコード：JPAN2100 曜時2：			
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後		メールアドレス：	
授業形態					
『講義』					
講義・演習概要					
日本語能力試験(JLPT)N1レベルの文法の使い方を学び、使う練習をする。 ※この授業についていくためには、日本語能力試験N2レベルの日本語力を有している必要がある。					
学習(到達)目標					
日本語能力試験(JLPT)N1レベルの四択問題(試験の形式)に答えられるだけでなく、文法の使い方を身につけ、日常生活で運用できるようにする。					
講義・演習計画					
【第1回】ガイダンス、実力チェックなど ※最初の授業までに教科書を購入しておくこと。オンラインで購入する場合は届くまでに時間がかかることがあるので、できるだけ早く注文すること。					
【第2回】第1章					
【第3回】第2章					
【第4回】第3章(1)					
【第5回】第3章(2)					
【第6回】第4章					
【第7回】第5章(1)					
【第8回】第5章(2)					
【第9回】第5章(3)・第6章					
【第10回】第7章(1)					
【第11回】模擬試験・第7章(1)(2)					
【第12回】第8章(1)					
【第13回】第8章(2)					
【第14回】第9章					
【第15回】学期末試験およびまとめ					
成績評価の方法					
試験	50%	レポート	0%	その他	50%
コメント	・評価の内訳 試験：学期末試験 その他：平常点（提出物・小テスト・授業参加・授業への取り組み） ・原則として、4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができない。結果的に単位が認定されないことにつながるので注意すること。 ・学期末試験が60点未満の場合は評価の対象外とする。				
テキスト					
著書	ABK(公益財団法人 アジア学生文化協会)		タイトル	TRY! 日本語能力試験 文法から伸ばす日本語 N1【改訂版／英語版】	
ISBN	9784872179040		出版社	アスク	
教科書購入区分	大学オンライン販売		備考	必ず購入すること。コピーなどは不可。	
著書			タイトル		
ISBN			出版社		
教科書購入区分	選択なし		備考		
著書			タイトル		
ISBN			出版社		
教科書購入区分	選択なし		備考		
参考文献					
事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間）					
予習を前提として授業を進める。また、章が終わるごとに小テストを行う。					
その他備考(担当教員用)					
キーワード					
備考(管理者用)					
外国人留学生のみ履修可能☆(旧：国際交流特別講義-N1対策(文法))14～24生読替					

講義名：日本語特殊講義-N2対策(聴解・読解) 01<春> 曜日1：金3 担当教員名：宮本 敬太		ナンバリングコード：JPAN2100 曜時2：	
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後	
		メールアドレス： keitam@andrew.ac.jp	
授業形態			
『講義』『グループワーク』			
講義・演習概要			
日常生活の様々な場面や話題に即した文章や会話文を通して、日本語能力試験(JLPT)N2(中上級)レベルの聴解・読解に関するスキルについて学ぶ。※学期途中で模擬試験を行うが、実施日は変更する可能性がある。			
学習(到達)目標			
日本語能力試験N2合格レベルの聴解・読解についての基本的な知識を身につけ、授業内の演習を繰り返すことで聴解・読解のスキルの向上を目指す。			
講義・演習計画			
【第1回】イントロダクション(授業の進め方・JLPTと問題形式の紹介等) 自己紹介 読解演習の体験：第01課 語のまとまりをとらえましょう ※初回の授業ではハンドアウトを用意しますので、教科書がなくても問題ありません。			
【第2回】聴解：聴解演習1 読解：第02課 「する／される」の関係をつかみましよう			
【第3回】聴解：聴解演習2 読解：第03課 文の構造をとらえましよう			
【第4回】聴解：聴解演習3 読解：第4課 前件と後件の関係をつかみましよう			
【第5回】聴解：聴解演習4 読解：第05課 「これ」「それ」が差すものを考えましよう			
【第6回】聴解：聴解演習5 読解：第06課 省略されているものが何か考えましよう			
【第7回】聴解：聴解演習6 読解：第07課 関連のある言葉を探しましよう			
【第8回】聴解：聴解演習7 読解：第08課 文末に注目して筆者の意見を見抜きましよう			
【第9回】聴解：聴解演習8 読解：第09課 筆者の立場を見分けましよう			
【第10回】聴解：聴解演習9 読解：第10課 大切なことを伝えるサインをつかみましよう			
【第11回】模擬試験			
【第12回】聴解：聴解演習10 読解：第11課 目印を使って内容を整理しましよう			
【第13回】聴解：聴解演習11 読解：第12課 内容を素早く理解しましよう 第13課 文章の話題を見抜きましよう			
【第14回】聴解：聴解演習12 読解：第14課 ストーリーを上手に読みましよう 第15課 読み間違いを見つけましよう			
【第15回】期末試験			
成績評価の方法			
試験	50%	レポート	0%
コメント	※原則として、4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができません。結果的に単位が認定されないことにつながりますので注意してください。		
テキスト			
著書	石黒圭(編著)	タイトル	留学生のための 読解トレーニング ～読む力がアップする15のポイント～
ISBN	978-4-89358-780-0	出版社	凡人社
教科書購入区分	大学オンライン販売	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間・事後学習 30 時間)			
各講義の間に課題を指定する。			
その他備考(担当教員用)			
キーワード			
聴解、読解、ストラテジー、JLPT、日本語能力試験			
備考(管理者用)			
外国人留学生のみ履修可能☆(旧：国際交流特別講義-N2対策(聴解・読解))14～24生読替			

講義名：日本語特殊講義-N2対策(聴解・読解) 02<秋> 曜日1：金3 担当教員名：宮本 敬太		ナンバリングコード：JPAN2100 曜時2：			
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後	メールアドレス：keitam@andrew.ac.jp		
授業形態					
『講義』『グループワーク』					
講義・演習概要					
日常生活の様々な場面や話題に即した文章や会話文を通して、日本語能力試験(JLPT)N2(中上級)レベルの聴解・読解に関するスキルについて学ぶ。※学期途中で模擬試験を行うが、実施日は変更する可能性がある。					
学習(到達)目標					
日本語能力試験N2合格レベルの聴解・読解についての基本的な知識を身につけ、授業内の演習を繰り返すことで聴解・読解のスキルの向上を目指す。					
講義・演習計画					
【第1回】イントロダクション(授業の進め方・JLPTと問題形式の紹介等) 自己紹介 読解演習の体験：第01課 語のまとまりをとらえましょう ※初回の授業ではハンドアウトを用意しますので、教科書がなくても問題ありません。					
【第2回】聴解：聴解演習1 読解：第02課 「する／される」の関係をつかみましよう					
【第3回】聴解：聴解演習2 読解：第03課 文の構造をとらえましよう					
【第4回】聴解：聴解演習3 読解：第4課 前件と後件の関係をつかみましよう					
【第5回】聴解：聴解演習4 読解：第05課 「これ」「それ」が差すものを考えましよう					
【第6回】聴解：聴解演習5 読解：第06課 省略されているものが何か考えましよう					
【第7回】聴解：聴解演習6 読解：第07課 関連のある言葉を探しましよう					
【第8回】聴解：聴解演習7 読解：第08課 文末に注目して筆者の意見を見抜きましよう					
【第9回】聴解：聴解演習8 読解：第09課 筆者の立場を見分けましよう					
【第10回】聴解：聴解演習9 読解：第10課 大切なことを伝えるサインをつかみましよう					
【第11回】模擬試験					
【第12回】聴解：聴解演習10 読解：第11課 目印を使って内容を整理しましよう					
【第13回】聴解：聴解演習11 読解：第12課 内容を素早く理解しましよう 第13課 文章の話題を見抜きましよう					
【第14回】聴解：聴解演習12 読解：第14課 ストーリーを上手に読みましよう 第15課 読み間違いを見つけましよう					
【第15回】期末試験					
成績評価の方法					
試験	50%	レポート	0%	その他	50%
コメント	※原則として、4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができません。結果的に単位が認定されないことにつながりますので注意してください。				
テキスト					
著書	石黒圭(編著)	タイトル	留学生のための 読解トレーニング ～読む力がアップする15のポイント～		
ISBN	978-4-89358-780-0	出版社	凡人社		
教科書購入区分	大学オンライン販売	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
参考文献					
事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間・事後学習 30 時間)					
各講義の間に課題を指定する。					
その他備考(担当教員用)					
キーワード					
聴解、読解、ストラテジー、JLPT、日本語能力試験					
備考(管理者用)					
外国人留学生のみ履修可能☆(旧：国際交流特別講義-N2対策(聴解・読解))14～24生読替					

講義名：日本語特殊講義-N2対策(文法) 01<春> 曜日1：月4 担当教員名：辰巳 委子		ナンバリングコード：JPAN2100 曜日2：	
研究室：兼任講師控室		オフィスパワー：授業前後	
		メールアドレス： t63501@andrew.ac.jp	
授業形態			
『講義』			
講義・演習概要			
日常生活の様々な場面を題材にした文章や会話文を通して、日本語能力試験（JLPT）N2（中上級）レベルの文法を学ぶ。			
学習(到達)目標			
日本語能力試験N2合格レベルの文法知識を身につけること。			
講義・演習計画			
【第1回】 オリエンテーション(授業の進め方の説明・日本語能力試験と問題形式の紹介等)			
【第2回】 第1課 語彙や文法の確認と練習①			
【第3回】 第2課 小テスト 語彙や文法の確認と練習②			
【第4回】 第3課 小テスト 語彙や文法の確認と練習③			
【第5回】 第4課 小テスト 語彙や文法の確認と練習④			
【第6回】 第5課 小テスト 語彙や文法の確認と練習⑤			
【第7回】 第6課 小テスト 語彙や文法の確認と練習⑥			
【第8回】 第8課 小テスト 語彙や文法の確認と練習⑦			
【第9回】 第9課 小テスト 語彙や文法の確認と練習⑧			
【第10回】 第10課 小テスト 語彙や文法の確認と練習⑨			
【第11回】 第11課 小テスト 語彙や文法の確認と練習⑩			
【第12回】 第12課 模擬試験			
【第13回】 第13課 語彙や文法の確認と練習⑪			
【第14回】 第14課 小テスト 語彙や文法の確認と練習⑫			
【第15回】 期末試験とまとめ			
成績評価の方法			
試験	50%	レポート	
コメント	試験：50% 小テスト：40% その他(授業参加・意欲)：10%		
	※原則として、4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができません。結果的に単位が認定されないこととなりますので、注意してください。		
テキスト			
著書	ABK(公益財団法人 アジア学生文化協会)	タイトル	<音声DL版>TRY！日本語能力試験 N2 文法から伸ばす日本語
ISBN	978-4866396774	出版社	アスク出版
教科書購入区分	学生独自購入	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
前澤由紀子『実践問題で合格力を身につける 日本語能力試験 N2文法模擬テスト』(三修社 978-4384055764)			
事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間）			
予習を前提として授業を進めます。また毎回、前回の学習範囲について小テストを行います。			
その他備考(担当教員用)			
・履修開始時にJLPTN3合格レベルの日本語力を持つことが望ましい。 ・教科書は英語版のほかに、中国語版、ベトナム語版、またそれぞれCD付きのものや電子版もあります。 各自の希望に合わせて購入してください。音声と語彙リストはアスク出版のホームページからダウンロードできます。			
キーワード			
備考(管理者用)			
外国人留学生のみ履修可能☆(旧:国際交流特別講義-N2対策(文法))14～24生読替			

講義名：日本語特殊講義-N2対策(文法) 02<秋> 曜時1：月4 担当教員名：辰巳 委子		ナンバリングコード： JPN2100 曜時2：	
研究室： 兼任講師控室		オフィスアワー： 授業前後	
メールアドレス： t63501@andrew.ac.jp			
授業形態			
『講義』			
講義・演習概要			
日常生活の様々な場面を題材にした文章や会話文を通して、日本語能力試験（JLPT）N2（中上級）レベルの文法を学ぶ。			
学習(到達)目標			
日本語能力試験N2合格レベルの文法知識を身につけること。			
講義・演習計画			
【第1回】オリエンテーション(授業の進め方の説明・日本語能力試験と問題形式の紹介等)			
【第2回】第1課 語彙や文法の確認と練習①			
【第3回】第2課 小テスト 語彙や文法の確認と練習②			
【第4回】第3課 小テスト 語彙や文法の確認と練習③			
【第5回】第4課 小テスト 語彙や文法の確認と練習④			
【第6回】第5課 小テスト 語彙や文法の確認と練習⑤			
【第7回】第6課 小テスト 語彙や文法の確認と練習⑥			
【第8回】第8課 小テスト 語彙や文法の確認と練習⑦			
【第9回】第9課 小テスト 語彙や文法の確認と練習⑧			
【第10回】第10課 小テスト 語彙や文法の確認と練習⑨			
【第11回】第11課 小テスト 語彙や文法の確認と練習⑩			
【第12回】第12課 模擬試験			
【第13回】第13課 語彙や文法の確認と練習⑪			
【第14回】第14課 小テスト 語彙や文法の確認と練習⑫			
【第15回】期末試験とまとめ			
成績評価の方法			
試験	50%	レポート	50%
コメント	試験：50% 小テスト：40% その他(授業参加・意欲)：10% ※原則として、4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができません。結果的に単位が認定されないことにつながりますので、注意してください。		
テキスト			
著書	ABK(公益財団法人 アジア学生文化協会)	タイトル	<音声DL版>TRY！日本語能力試験 N2 文法から伸ばす日本語
ISBN	978-4866396774	出版社	アスク出版
教科書購入区分	学生独自購入	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
前澤由紀子『実践問題で合格力を身につける 日本語能力試験対策 N2文法模擬テスト』(三修社 978-4384055764)			
事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間)			
予習を前提として授業を進めます。また毎回、前回の学習範囲について小テストを行います			
その他備考(担当教員用)			
・履修開始時にJLPTN3合格レベルの日本語力を持つことが望ましい。 ・教科書は英語版のほかに、中国語版、ベトナム語版、またそれぞれCD付きのものや電子版もあります。 各自の希望に合わせて購入してください。音声と語彙リストはアスク出版のホームページからダウンロードできます。			
キーワード			
備考(管理者用)			
外国人留学生のみ履修可能☆(旧：国際交流特別講義-N2対策(文法))14～24生読替			

講義名：日本語特殊講義-日本事情(基礎) 01<春> 曜日1: 金5 担当教員名: 島 千尋		ナンバリングコード: JPN2100 曜時2:	
研究室: 兼任講師控室		オフィスアワー: 授業前後	
		メールアドレス: cshima@andrew.ac.jp	
授業形態			
『講義』『アクティブラーニング』『実務経験のある教員による授業①(日本語学校・専門学校・他大学での日本語教師経験のある現役日本語教師が、留学生にとって日本や日本語を学ぶ上で必要になる基礎的な事項について教授する。)』			
講義・演習概要			
この授業は、「日本」や「日本語」についての基礎的なことを学びます。 日本で生活し、日本の大学で勉強し、将来日本に関係する仕事をする上で、基本的な日本の地理や歴史、伝統文化についての知識が必要です。また、日常でよく使う言葉や表現、その書き方(漢字・カタカナ)も知っておいた方がいいです。この授業で、こうしたことについて一緒に学んでいきましょう。日本の伝統行事の体験もします。 1. 日本の地理、歴史、伝統文化についての基礎的な事項について知る 2. 日常でよく使う日本語の様々な言葉や表現、書き方を学ぶ 3. 日本の伝統行事を体験する			
学習(到達)目標			
1. 日本の地理、歴史、伝統文化についての基礎的な知識を身につける 2. 日常でよく使う日本語の様々な言葉や表現、書き方を学んで使えるようになる			
講義・演習計画			
【第1回】①オリエンテーション ②日常でよく使う表現1 ～朝起きてから登校まで～			
【第2回】日本の地理1 ～日本全体～			
【第3回】日本の地理2 ～東日本～			
【第4回】日本の地理3 ～西日本～			
【第5回】日常でよく使う表現2 ～体や病気～			
【第6回】日本の伝統行事体験 ～短歌～			
【第7回】日常でよく使う表現3 ～①身につけるものや身につける動作 ②色の名前～			
【第8回】日常でよく使う表現4 ～①いろいろな体の動き ②日本人の名前～			
【第9回】日常でよく使う表現5 ～①世界の地名や人名の日本語での書き方 ②数え方や割合～			
【第10回】日本の年中行事			
【第11回】日本の伝統行事体験 ～七夕～			
【第12回】日本の歴史1 ～古代から中古まで～			
【第13回】日本の歴史2 ～中古から中世まで～			
【第14回】日本の歴史3 ～中世から近世まで～			
【第15回】試験とまとめ			
成績評価の方法			
試験	40%	レポート	20%
		その他	40%
コメント	・「レポート」は毎回の小テストです(授業の初めにいつも小テストをします) ・「その他」は授業態度と参加度です。 ・毎回出席が原則です。4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができません。結果的に単位が認定されませんので注意してください。ただし、公認欠席は除きます。		
テキスト			
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間・事後学習 30 時間)			
毎回、授業の最初に小テストをしますので、テストの勉強をしてきてください。			
その他備考(担当教員用)			
キーワード			
日本の地理、日本の歴史、日本の伝統文化、日本語の日常表現			
備考(管理者用)			
外国人留学生のみ履修可能☆(旧:国際交流特別講義-日本事情(基礎))14～24生読替			

講義名：日本語特殊講義-日本事情(基礎) 02<秋> 曜日1: 金4 担当教員名: 島 千尋		ナンバリングコード: JPN2100 曜時2:	
研究室: 兼任講師控室		オフィスアワー: 授業前後	
		メールアドレス: cshima@andrew.ac.jp	
授業形態			
『講義』『アクティブラーニング』『実務経験のある教員による授業①(日本語学校・専門学校・他大学での日本語教師経験のある現役日本語教師が、留学生にとって日本や日本語を学ぶ上で必要になる基礎的な事項について教授する。)』			
講義・演習概要			
この授業は、「日本」や「日本語」についての基礎的なことを学びます。 日本で生活し、日本の大学で勉強し、将来日本に関係する仕事をする上で、基本的な日本の地理や歴史、伝統文化についての知識が必要です。また、日常でよく使う言葉や表現、その書き方(漢字・カタカナ)も知っておいた方がいいです。この授業で、こうしたことについて一緒に学んでいきましょう。日本の伝統行事の体験もします。 1. 日本の地理、歴史、伝統文化についての基礎的な事項について知る 2. 日常でよく使う日本語の様々な言葉や表現、書き方を学ぶ 3. 日本の伝統行事を体験する			
学習(到達)目標			
1. 日本の地理、歴史、伝統文化についての基礎的な知識を身につける 2. 日常でよく使う日本語の様々な言葉や表現、書き方を学んで使えるようになる			
講義・演習計画			
【第1回】①オリエンテーション ②日常でよく使う表現1 ～朝起きてから登校まで～			
【第2回】日本の地理1 ～日本全体～			
【第3回】日本の地理2 ～東日本～			
【第4回】日本の地理3 ～西日本～			
【第5回】日常でよく使う表現2 ～体や病気～			
【第6回】日本の伝統行事体験 ～短歌～			
【第7回】日常でよく使う表現3 ～①身につけるものや身につける動作 ②色の名前～			
【第8回】日本の歴史1 ～古代から中古まで～			
【第9回】日本の歴史2 ～中古から中世まで～			
【第10回】日本の歴史3 ～中世から近世まで～			
【第11回】日本の年中行事			
【第12回】日本の伝統行事体験 ～年賀状～			
【第13回】日常でよく使う表現4 ～①いろいろな体の動き ②日本人の名前～			
【第14回】日常でよく使う表現5 ～①世界の地名や人名の日本語での書き方 ②数え方や割合～			
【第15回】試験とまとめ			
成績評価の方法			
試験	40%	レポート	20%
		その他	40%
コメント	・「レポート」は毎回の小テストです(授業の初めにいつも小テストをします) ・「その他」は授業態度と参加度です。 ・毎回出席が原則です。4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができません。結果的に単位が認定されませんので注意してください。ただし、公認欠席は除きます。		
テキスト			
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間・事後学習 30 時間)			
毎回、授業の最初に小テストをしますので、テストの勉強をしてきてください。			
その他備考(担当教員用)			
キーワード			
日本の地理、日本の歴史、日本の伝統文化、日本語の日常表現			
備考(管理者用)			
外国人留学生のみ履修可能☆(旧:国際交流特別講義-日本事情(基礎))14～24生読替			

講義名：日本語特殊講義-日本事情(応用/ビジネス日本語) 01<春> 曜時1: 金2 担当教員名: 宮本 敬太		ナンバリングコード: JPAN2100 曜時2:	
研究室: 兼任講師控室		オフィスアワー: 授業前後	
		メールアドレス: keitam@andrew.ac.jp	
授業形態			
『アクティブラーニング』 『グループワーク』			
講義・演習概要			
本講義では、『ビジネスコミュニケーションのためのケース学習―職場のダイバーシティで学び合う【教材編2】』をテキストとして、ケース学習を行う。 本科目では、グループワークを授業内で多く行うため、日本語を話すこと／聞くことに不安がある場合は、履修するかどうかを慎重に検討すること。 具体的には以下のようなことを実施するが詳細については第01回目から第03回目まででオリエンテーションを行うので、特に第01回目は欠席しないようにしてください。 ・テキストに登場する様々なビジネスケースの分析(毎週課題(宿題)があります) ・テキストについての他の履修者との共同での分析(グループワーク) ・その他の点についての他の履修者とのディスカッション			
学習(到達)目標			
ビジネスコミュニケーションスキルの向上はもちろんとして、日本語の読解、会話など総合的なスキルの向上を目指す。			
講義・演習計画			
【第1回】 イントロダクション(授業の進め方・評価の仕方の説明等) 履修者自己紹介			
【第2回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習01(オリエンテーション)			
【第3回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習02(オリエンテーション)			
【第4回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習03			
【第5回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習04			
【第6回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習05			
【第7回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習06			
【第8回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習07			
【第9回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習08			
【第10回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習09			
【第11回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習10			
【第12回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習11			
【第13回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習12			
【第14回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習13			
【第15回】 期末試験			
成績評価の方法			
試験	50%	レポート	
コメント	※原則として、4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができません。結果的に単位が認定されないことにつながりますので注意してください。		
テキスト			
著書	近藤彩・金孝卿・池田玲子	タイトル	ビジネスコミュニケーションのためのケース学習：職場のダイバーシティで学び合う【教材編2】
ISBN	978-4-86676-018-6	出版社	ココ出版
教科書購入区分	大学オンライン販売	備考	必ず【教材編2】を買うこと。
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間）			
各講義の間に課題を指定する。			
その他備考(担当教員用)			
キーワード			
ビジネスコミュニケーション、ケース学習			
備考(管理者用)			
外国人留学生のみ履修可能☆14～24生のみ履修可能☆(旧:国際交流特別講義-日本事情(応用/ビジネス日本語))14～24生読替			

講義名：日本語特殊講義-日本事情(応用/ビジネス日本語) 02<秋> 曜時1：金2 担当教員名：宮本 敬太		ナンバリングコード：JPAN2100 曜時2：	
研究室：兼任講師控室		オフィスアワー：授業前後	メールアドレス： keitam@andrew.ac.jp
授業形態 『アクティブラーニング』 『グループワーク』			
講義・演習概要 本講義では、『ビジネスコミュニケーションのためのケース学習―職場のダイバーシティで学び合う【教材編2】』をテキストとして、ケース学習を行う。 本科目では、グループワークを授業内で多く行うため、日本語を話すこと／聞くことに不安がある場合は、履修するかどうかを慎重に検討すること。 具体的には以下のようなことを実施するが詳細については第01回目から第03回目まででオリエンテーションを行うので、特に第01回目は欠席しないようにしてください。 ・テキストに登場する様々なビジネスケースの分析(毎週課題(宿題)があります) ・テキストについての他の履修者との共同での分析(グループワーク) ・その他の点についての他の履修者とのディスカッション			
学習(到達)目標 ビジネスコミュニケーションスキルの向上はもちろんとして、日本語の読解、会話など総合的なスキルの向上を目指す。			
講義・演習計画			
【第1回】 イントロダクション(授業の進め方・評価の仕方の説明等) 履修者自己紹介			
【第2回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習01(オリエンテーション)			
【第3回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習02(オリエンテーション)			
【第4回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習03			
【第5回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習04			
【第6回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習05			
【第7回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習06			
【第8回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習07			
【第9回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習08			
【第10回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習09			
【第11回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習10			
【第12回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習11			
【第13回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習12			
【第14回】 ビジネスコミュニケーションのためのケース学習13			
【第15回】 期末試験			
成績評価の方法			
試験	50%	レポート	その他 50%
コメント	※原則として、4回以上の欠席があった場合には、授業内活動などの十分な成果が確認できず、その評価ができません。結果的に単位が認定されないことにつながりますので注意してください。		
テキスト			
著書	近藤彩・金孝卿・池田玲子	タイトル	ビジネスコミュニケーションのためのケース学習：職場のダイバーシティで学び合う【教材編2】
ISBN	978-4-86676-018-6	出版社	ココ出版
教科書購入区分	大学オンライン販売	備考	必ず【教材編2】を買うこと。
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間）			
各講義の間に課題を指定する。			
その他備考(担当教員用)			
キーワード			
ビジネスコミュニケーション、ケース学習			
備考(管理者用)			
外国人留学生のみ履修可能☆14～24生のみ履修可能☆(旧:国際交流特別講義-日本事情(応用/ビジネス日本語))14～24生読替			

講義名：日本事情A[外国人留学生用] <春> 曜時1：水2 担当教員名：大河内 瞳		ナンバリングコード：CULT1000 曜時2：	
研究室：聖アンデレ館6階629号室		オフィスアワー：火曜日3限	メールアドレス：kawachih@andrew.ac.jp
授業形態			
『講義』『プレゼンテーション』『グループワーク』			
講義・演習概要			
本授業は、さまざまな観点から日本についてディスカッションをして、理解を深めることを目的としてしています。ディスカッションを通して、一つの正解を見つけるのではなく、多様な捉え方があることを理解してほしいと考えています。また、ディスカッションを中心に授業を進めますので、積極的に参加してください。 日本語の資料を読んだり、日本語でディスカッションをしたりしますので、中級以上の日本語能力を求めます。			
学習(到達)目標			
本授業の学習目標は、以下の2点です。 1)さまざまな観点から日本について捉え直すことができる 2)クラスメイトとのディスカッションを通して、自分の意見を述べると同時に、他者の意見を受け入れることができるようになる			
講義・演習計画			
【第1回】オリエンテーション 日本に対するイメージ			
【第2回】日本語を学ぶ①			
【第3回】日本語を学ぶ②			
【第4回】日本で暮らす①			
【第5回】日本で暮らす②			
【第6回】移動する①			
【第7回】移動する②			
【第8回】食べる①			
【第9回】食べる②			
【第10回】私たちを取り巻く環境①			
【第11回】私たちを取り巻く環境②			
【第12回】生活を支える経済①			
【第13回】生活を支える経済②			
【第14回】発表①			
【第15回】発表②			
成績評価の方法			
試験		レポート	
コメント	・ミニレポート(6回)：50% ・発表(1回)：10% ・課題(ふりかえり、ディスカッションの準備)：40%		
テキスト			
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
佐々木瑞枝(2017)『クローズアップ日本事情15』ジャパンタイムズ出版			
事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間）			
【事前学習】 ・各回の授業はその前の回の内容を踏まえたものですので、その前の週に学んだことを授業の配布資料を読み直すなどして確認してください。 ・学期中に1回発表を行いますので、発表の回は事前に準備や練習をしておいてください。 【事後学習】 ・授業の後に、授業での学びや気づきについてのふりかえりを提出してください。 ・学期中に1回発表を行いますので、発表の後にはよかったところや改善すべきところなど、各自でふりかえりを行ってください。 ・1つのテーマが終わると、ミニレポート課題を出します。			
その他備考（担当教員用）			
キーワード			
日本、日本社会、ディスカッション			
備考(管理者用)			
(旧:日本事情)02～14生読替☆外国人留学生のみ履修可能			

講義名：日本事情B[外国人留学生用] <秋> 曜時1：金2 担当教員名：大河内 瞳		ナンバリングコード：CULT1010 曜時2：	
研究室：聖アンデレ館6階629号室		オフィスアワー：火曜日3限	メールアドレス： kawachih@andrew.ac.jp
授業形態			
『講義』『プレゼンテーション』『グループワーク』			
講義・演習概要			
本授業は、さまざまな観点から日本についてディスカッションをして、理解を深めることを目的としてしています。ディスカッションを通して、一つの正解を見つけるのではなく、多様な捉え方があることを理解してほしいと考えています。また、ディスカッションを中心に授業を進めますので、積極的に参加してください。 日本語の資料を読んだり、日本語でディスカッションをしたりしますので、中級以上の日本語能力を求めます。			
学習(到達)目標			
本授業の学習目標は、以下の2点です。 1)さまざまな観点から日本について捉え直すことができる 2)クラスメイトとのディスカッションを通して、自分の意見を述べると同時に、他者の意見を受け入れることができるようになる			
講義・演習計画			
【第1回】オリエンテーション 日本に対するイメージ			
【第2回】大学での生活①			
【第3回】大学での生活②			
【第4回】日本の教育①			
【第5回】日本の教育②			
【第6回】ジェンダー①			
【第7回】ジェンダー②			
【第8回】若者と政治①			
【第9回】若者と政治②			
【第10回】日本に暮らす外国人①			
【第11回】日本に暮らす外国人②			
【第12回】言語景観①			
【第13回】言語景観②			
【第14回】発表①			
【第15回】発表②			
成績評価の方法			
試験		レポート	その他
コメント	・ミニレポート(6回)：50% ・発表(1回)：10% ・課題(ふりかえり、ディスカッションの準備)：40%		
テキスト			
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
佐々木瑞枝(2017)『クローズアップ日本事情15』ジャパンタイムズ出版			
事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間）			
【事前学習】 ・各回の授業はその前の回の内容を踏まえたものですので、その前の週に学んだことを授業の配布資料を読み直すなどして確認してください。 ・学期中に1回発表を行いますので、発表の回は事前に準備や練習をしておいてください。 【事後学習】 ・授業の後に、授業での学びや気づきについてのふりかえりを提出してください。 ・学期中に1回発表を行いますので、発表の後にはよかったところや改善すべきところなど、各自でふりかえりを行ってください。 ・1つのテーマが終わると、ミニレポート課題を出します。			
その他備考（担当教員用）			
キーワード			
日本、日本社会、ディスカッション			
備考(管理者用)			
(旧:日本事情)02～14生読替☆外国人留学生のみ履修可能			